

平成31年度大分野別出願動向調査 — 一般分野 —

ニーズ即応型の技術動向調査

テーマ名：

オフィス家具に関する特許・意匠

背景・目的：

近年働き方改革が注目されている中で、それに寄与する(可能性のある)オフィス家具の開発も進んでいるところであり、各出願人の動向を注視する必要がある。また、家具分野においては、外観に特徴がある製品が多く存在するため、各出願人は特許出願だけでなく意匠出願にも注力しているところである。そのため、特許出願、意匠出願、双方において、各出願人の動向を注視する必要がある。

本テーマでは、オフィス家具に関する技術に関し、働き方改革に資するという観点から特許と意匠の出願動向を調査する。

調査手法：

以下の調査条件の下、「出願・登録動向」を調査する。

また、(技術)区分・指定出願人を、特許と意匠とで揃うように設定し(P6、P7参照)、「区分別の出願・登録動向」、「指定出願人の出願・登録動向」を調査する。

調査条件 (P6、P7参照)：

特許

対象国(出願先)：

日本、米国、欧州、中国、韓国、オーストラリア、カナダ、インド、ロシア、ブラジル、ASEAN各国、及びPCT
出願年(優先権主張年)：2005年～2017年

国際意匠

対象国(出願先)：

日本、米国、欧州、中国、韓国、ロシア、ブラジル
出願年(優先権主張年)：2005年～2018年

日本意匠

出願年(優先権主張年)：2005年～2018年

調査結果のポイント：

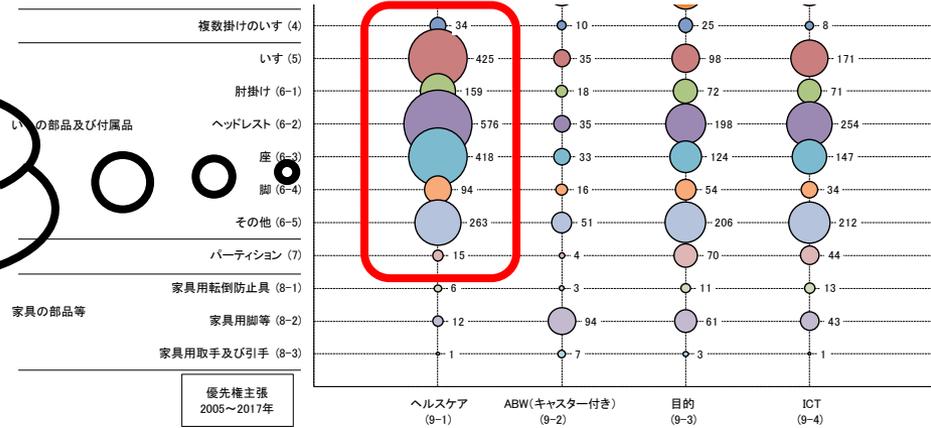
- 働き方改革関連の技術区分を設定しているため（P6参照）、働き方改革関連の出願動向を把握しやすい。
- （技術）区分を、特許と意匠とで揃うように設定しているため、両者の比較がしやすい。

例えば・・・

ヘルスケアの用途では、
いすの部品及び付属品
に関する出願が多く行われている。

特許

3. 4. 区分別の出願動向（働き方改革関連との関係）



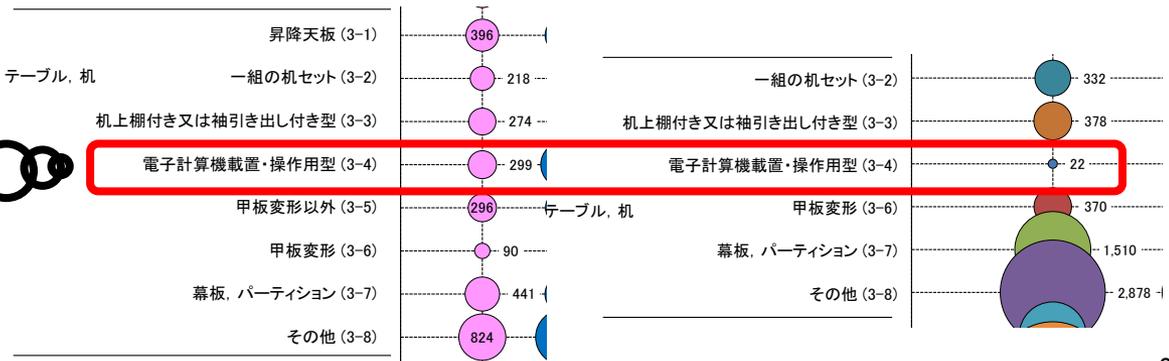
特許

3. 4. 区分別の出願動向
（出願人国籍（地域）別の出願件数）

日本意匠

5. 2. 区分別の登録動向
（登録件数）

特許と比較して、意匠では、
電子計算機載置・操作用型の机
の件数が少ない。



0. 概要	P 2
1. 技術テーマ概要・調査条件	P 6
2. 市場・政策動向	P 8
3. 特許動向調査		
3. 1. 出願動向	P 10
3. 2. 出願人別出願ランキング	P 11
3. 3. 主要国(地域)間の出願件数収支	P 13
3. 4. 区分別の出願動向	P 15
3. 5. 指定出願人の出願動向	P 19
4. 国際意匠動向調査		
4. 1. 登録動向	P 21
4. 2. 出願人別登録ランキング	P 22
4. 3. 主要国(地域)間の登録件数収支	P 24
4. 4. 区分別の登録動向	P 25
4. 5. 指定出願人の登録動向	P 27
5. 日本意匠動向調査		
5. 1. 登録動向、出願人別登録ランキング	P 29
5. 2. 区分別の登録動向	P 30
5. 3. 指定出願人の登録動向	P 32
6. まとめ	P 34

3. 特許動向調査

4. 国際意匠動向調査

5. 日本意匠動向調査

3. 1. 出願動向(出願件数推移)	P.10	4. 1. 登録動向(登録件数推移)	P.21		
3. 2. 出願人別出願ランキング(全体)	P.11	4. 2. 出願人別登録ランキング(全体)	P.22		
3. 2. 出願人別出願ランキング (主要国(地域))	P.12	4. 2. 出願人別登録ランキング (主要国(地域))	P.23		
3. 3. 主要国(地域)間の出願件数収支	P.13	4. 3. 主要国(地域)間の登録件数収支	P.24		
(参考)日本への特許出願	P.14			5. 1. 登録動向、出願人別登録ランキング	P.29
3. 4. 区分別の出願動向(全体出願件数)	P.15	4. 4. 区分別の登録動向 (全体登録件数、推移)	P.25		
3. 4. 区分別の出願動向(出願件数推移)	P.16	4. 4. 区分別の登録動向 (全体登録件数、推移)	P.25		
3. 4. 区分別の出願動向 (出願人国籍(地域)別の出願件数)	P.17	4. 4. 区分別の登録動向 (出願人国籍(地域)別の登録件数)	P.26	5. 2. 区分別の登録動向(登録件数)	P.30
3. 4. 区分別の出願動向 (働き方改革関連との関係)	P.18				
				5. 2. 区分別の登録動向 (登録件数推移)	P.31
3. 5. 指定出願人の出願動向 (出願件数、推移)	P.19	4. 5. 指定出願人の登録動向 (登録件数、推移)	P.27	5. 3. 指定出願人の登録動向 (登録件数推移)	P.32
3. 5. 指定出願人の出願動向 (区分別の出願件数)	P.20	4. 5. 指定出願人の登録動向 (区分別の登録件数)	P.28	5. 3. 指定出願人の登録動向 (区分別の登録件数)	P.33

1. 技術テーマ概要・調査条件①

技術テーマ概要

- 近年働き方改革が注目されている中で、それに寄与する（可能性のある）家具の開発が進み、各出願人の動向を注視する必要がある。家具分野には外観に特徴がある製品が多く存在するため、各出願人は特許出願だけでなく意匠出願にも注力している。そのため、特許出願と意匠出願双方において、各出願人の動向を注視する必要がある。
- 本テーマでは、オフィス家具に関する技術に関し、働き方改革に資するという観点から特許と意匠の出願動向を調査する。

特許技術区分 ※IPC及びテキストを用いて区分を設定。

技術区分番号	大分類	小分類
1-1	収納棚, 載置台	扉型
1-2		引き出しのみ型
1-3		その他
2	サービスワゴン等	サービスワゴン等
3-1	テーブル, 机	昇降天板
3-2		一組の机セット
3-3		机上棚付き又は袖引き出し付き型
3-4		電子計算機載置・操作用型
3-5		甲板変形以外
3-6		甲板変形
3-7		幕板, パーティション
3-8		その他
4	複数掛けのいす	複数掛けのいす

技術区分番号	大分類	小分類
5	いす	いす
6-1	いすの部品及び付属品	肘掛け
6-2		ヘッドレスト
6-3		座
6-4		脚
6-5		その他
7	パーティション	パーティション
8-1	家具の部品等	家具用転倒防止具
8-2		家具用脚等
8-3		家具用取手及び引手
9-1	働き方改革関連等	ヘルスケア
9-2		ABW(キャスター付き)
9-3		目的
9-4		ICT

【特許調査条件】

対象国（出願先）：

日本、米国、欧州、中国、韓国、オーストラリア、カナダ、インド、ロシア、ブラジル、ASEAN各国、及びPCT

出願年（優先権主張年）： 2005年～2017年

使用DB： Derwent Innovation

検索日： 2019年10月30日

1. 技術テーマ概要・調査条件②

意匠区分（各国・地域への出願） ※ロカルノ分類を用いて区分を設定。

項目番号	分類項目
1	収納棚, 載置台
2	サービスワゴン等
3	テーブル, 机
4	いす
5	家具用部品

【調査条件】

対象国（出願先）：

日本、米国、欧州、中国、韓国、ロシア、ブラジル

出願年（優先権主張年）： 2005年～2018年

使用DB： SAEGIS

検索日： 2019年10月30日～11月1日

意匠区分（日本への出願） ※日本意匠分類及びDタームを用いて区分を設定。

番号	大分類項目	小分類項目	
1-1	収納棚, 載置台	扉型	
1-2		引き出しのみ型	
1-3		その他	
2	サービスワゴン等	サービスワゴン等	
3-2	テーブル, 机	一組の机セット	
3-3		机上棚付き又は袖引き出し付き型	
3-4		電子計算機載置・操作用型	
3-6		甲板変形	
3-7		幕板, パーティション	
3-8		その他	
4		複数掛けのいす	複数掛けのいす

番号	大分類項目	小分類項目
5-1	いす	いす
5-2		放射状脚
5-3		肘掛け付き
6-1	いすの部品及び付属品	肘掛け
6-2		ヘッドレスト
6-3		座
6-4		脚
6-5		その他
7	パーティション	パーティション
8-1	家具の部品等	家具用転倒防止具
8-2		家具用脚等
8-3		家具用取手及び引手

【調査条件】

出願年（優先権主張年）： 2005年～2018年

使用DB： J-PlatPat

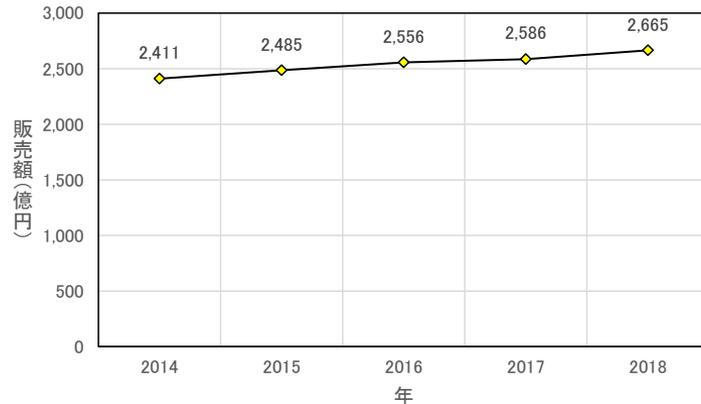
検索日： 2019年12月

2. 市場・政策動向①

日本の市場動向

- 家具の国内販売額は、2014年から2018年の期間、緩やかな増加が続いている。オフィス家具販売の成長要因として、オフィスづくりへの投資意識の高まり、シェアオフィスの誕生などが挙げられる。
- 業界団体としては、一般社団法人日本オフィス家具協会が、オフィスを通じてワーカーの働き方改革を支援する運動を展開しているほか、セミナーを開催して普及啓発活動を行っている。また、働き方改革委員会を設置し、オフィスでの健康、オフィスでの働き方改革等課題の研究に取り組んでいる。
- 主要なオフィス家具メーカーは、それぞれの顧客企業における働き方改革を支援するため、最適なオフィスの設計、オフィス家具の提供、オフィス環境の維持管理といったトータルソリューションを提供している。また、ICT企業との連携も始まっている。

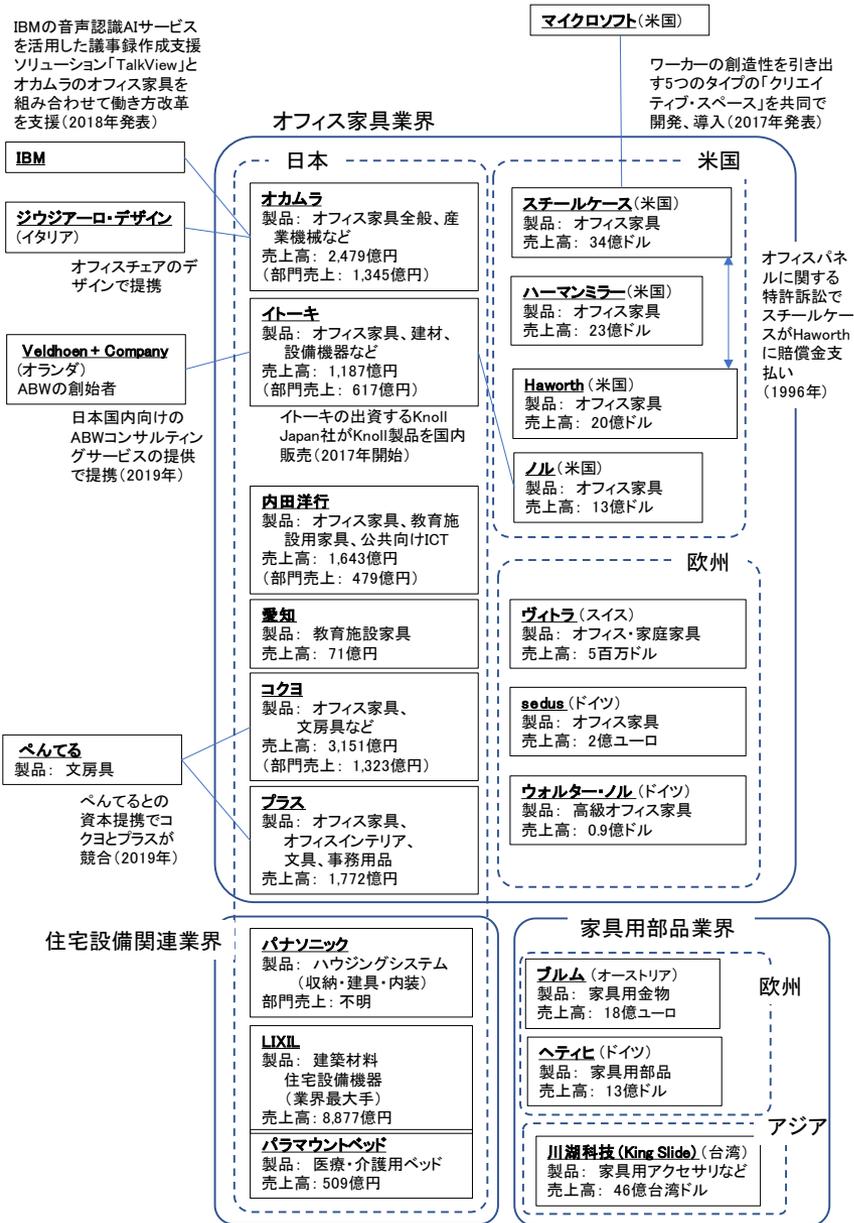
家具の販売額推移



日本の政策動向

- 働き方改革関連法（正式名称「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」）が2019年4月1日から順次施行されている。
- 労働者の多様な事情に応じた「職業生活の充実」に対応し、働き方改革を総合的に推進するために、国は次のような施策を講じている。
 - ✓ 労働時間の短縮と労働条件の改善
 - ✓ 雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保
 - ✓ 多様な就業形態の普及
 - ✓ 仕事と生活(育児、介護、治療)の両立
- 事業主は、労働者の「職業生活の充実」を責務とし、労働時間の短縮や労働条件の改善など、労働者が生活との調和を保ちつつ意欲と能力に応じて就業できる環境の整備に努めなければならない。
- オフィス家具ビジネスに関連する支援策としては、設備・IT導入等による生産性向上&業務効率化支援が含まれている。具体的には、業務改善助成金が用意され、生産性向上に資する設備・機器の導入等を行うとともに、事業場内最低賃金を引き上げた企業に支援が実施される。

2. 市場・政策動向② (グローバルな業界相関図)

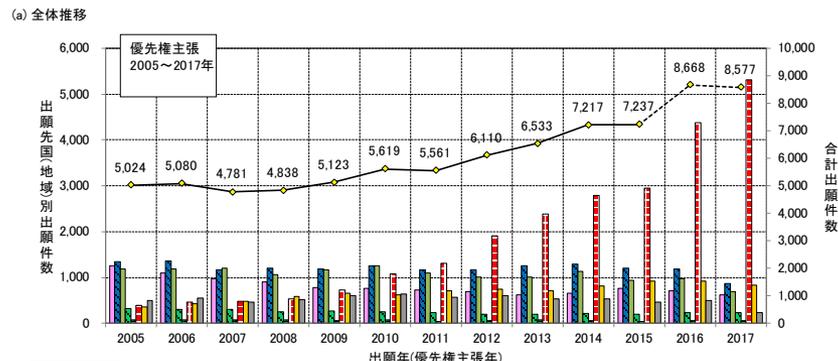
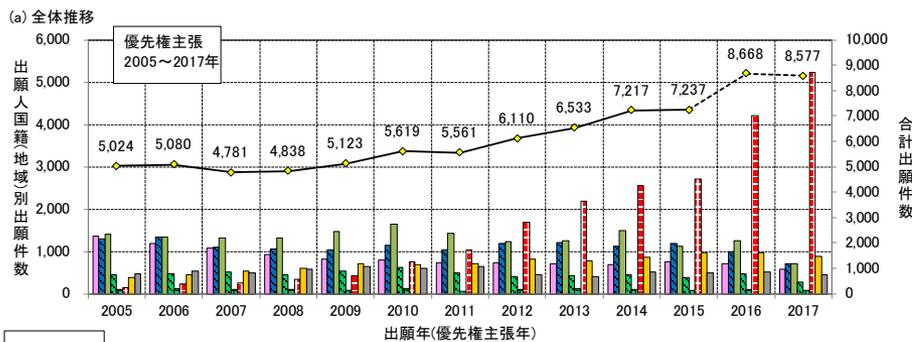


3. 1. 出願動向（出願件数推移）

- 検索により抽出された出願件数は80,368件であった。
- 年ごとの出願件数は、2009年まで5,000件前後で推移した後、増加傾向に転じ、2016年には8,668件に達している。
- 出願件数増加の主要因は中国籍出願人による中国国内への出願件数の増加であり、2016年の出願に占める中国籍出願人の出願件数比率は約50%である。
- 中国籍以外の国籍・地域の出願人の出願件数は総じて横ばい状態である。日本国籍出願人の出願件数は減少傾向にあり、2005年頃に欧州・米国と同水準であったのが、2010年頃以降は欧州の半数程度になっている。

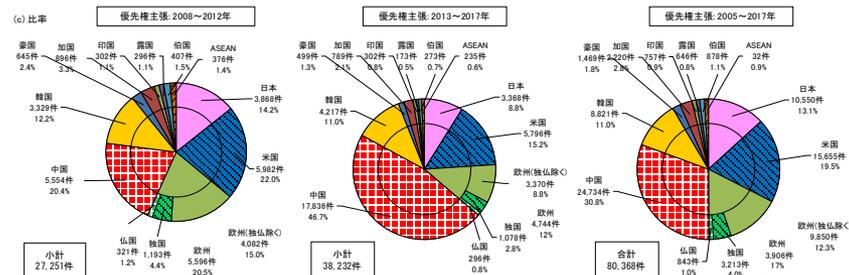
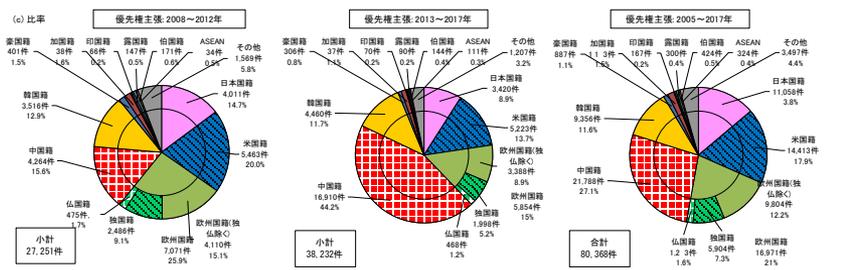
出願人国籍別の特許出願件数推移と比率

出願先国別の特許出願件数推移と比率



注) 2016年以降は、データベース収録の遅れ、PCT出願の各国移行のずれなどで、全出願データを反映していない可能性がある。

注) 2016年以降は、データベース収録の遅れ、PCT出願の各国移行のずれなどで、全出願データを反映していない可能性がある。



3. 2. 出願人別出願ランキング（全体）

- 日本国籍の出願人（家具製品メーカー）が出願件数ランキングの上位に位置づけられる。欧州勢と台湾が2番手となっているが、それらの出願人は家具用の部品（おもにスライドレール）を主力製品としている。

出願年：2008～2012年			出願年：2013～2017年			出願年：2005～2017年		
順位	出願人名	出願件数	順位	出願人名	出願件数	順位	出願人名	出願件数
1	ブルム(オーストリア)	697	1	オカムラ	594	1	オカムラ	1,527
2	オカムラ	576	2	川湖科技(King Slide) (台湾)	532	2	ブルム(オーストリア)	1,213
3	ヘティヒ(ドイツ)	533	3	ヘティヒ(ドイツ)	478	3	ヘティヒ(ドイツ)	1,041
4	鴻海精密工業(台湾)	502	4	ブルム(オーストリア)	288	4	コクヨ	865
5	コクヨ	370	5	エルジー エレクトロニクス(韓国)	285	5	パナソニック	759
6	パナソニック	304	6	コクヨ	220	6	イトーキ	739
7	イトーキ	288	7	イトーキ	186	7	川湖科技(King Slide) (台湾)	701
8	BSH Home Appliances (ドイツ)	280	8	Välinge Innovation (ス ウェーデン)	154	8	エルジー エレクトロニクス(韓国)	690
9	エルジー エレクトロニクス(韓国)	216	9	レオナルド(イタリア)	144	9	鴻海精密工業(台湾)	647
10	スチールケース(米国)	180	10	Harbin Gold Apple Cabinet (中国)	139	10	BSH Home Appliances (ドイツ)	640

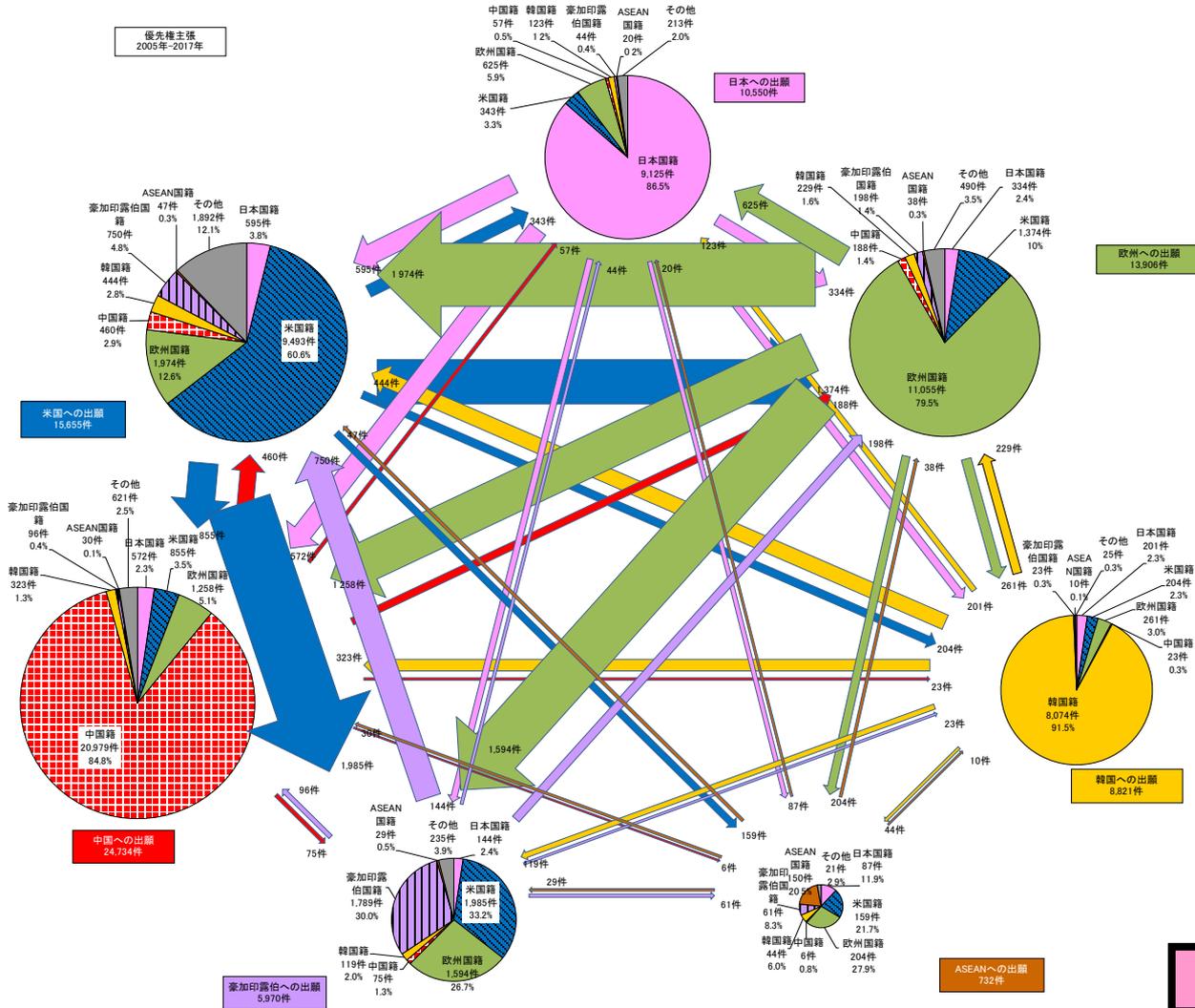
3. 2. 出願人別出願ランキング (主要国(地域))

- 日本、韓国、欧州では、件数ランキングに入る出願人の多くを自国籍・同地域の出願人が占める。
- 米国と中国では、半数かそれ以上を他国籍出願人が占め、かつランキング上位を他国籍出願人が占める。
- 出願全体で上位に入る日本国籍出願人は、他国ではなく日本に対して特に多数出願していることが分かる。それに対し、出願全体で上位に入る欧州、台湾、韓国の出願人は、同時に複数の他国・他地域にも多数出願し、それぞれランキング上位に入るものが多い。

出願先: 日本			出願先: 米国			出願先: 欧州			出願先: 中国			出願先: 韓国		
順位	出願人名	出願件数	順位	出願人名	出願件数	順位	出願人名	出願件数	順位	出願人名	出願件数	順位	出願人名	出願件数
1	オカムラ	1,335	1	鴻海精密工業(台湾)	331	1	ヘティヒ(ドイツ)	585	1	鴻海精密工業(台湾)	274	1	エルジー エレクトロニクス(韓国)	251
2	コクヨ	774	2	川湖科技(King Slide)(台湾)	229	2	ブルム(オーストリア)	532	2	ブルム(オーストリア)	195	2	三星電子(韓国)	76
3	イトーキ	704	3	エルジー エレクトロニクス(韓国)	169	3	BSH Home Appliances(ドイツ)	362	3	WU, Zhi-yong(個人)(中国)	173	3	Segos(韓国)	73
4	パナソニック	555	4	スチールケース(米国)	164	4	川湖科技(King Slide)(台湾)	183	4	川湖科技(King Slide)(台湾)	167	4	ヘティヒ(ドイツ)	58
5	ブルム(オーストリア)	174	5	ブルム(オーストリア)	159	5	レオナルド(イタリア)	176	5	ヘティヒ(ドイツ)	153		PARK, YOON SIG(個人)(韓国)	54
6	LIXIL	130	6	Leggett & Platt(米国)	148	6	Sedus(ドイツ)	107	6	Harbin Gold Apple Cabinet(中国)	139	6	JANG, KUN DAE(個人)(韓国)	53
7	クリナップ	117	7	BSH Home Appliances(ドイツ)	100	7	スチールケース(米国)	100	7	江蘇電力・南通電力供給(中国)	103	6	Dowon Chairs(韓国)	53
8	タカノ	114	8	ワールプール(米国)	95	8	エルジー エレクトロニクス(韓国)	94	8	エルジー エレクトロニクス(韓国)	98	8	KOAS(韓国)	51
8	川湖科技(King Slide)(台湾)	114	9	ゼネラル・エレクトリック(米国)	81	9	Kesseböhmer(ドイツ)	84	9	BSH Home Appliances(ドイツ)	86	9	Camfurs Line(韓国)	47
10	トヨタ紡織	90	9	ハーマンミラー(米国)	81	10	Fulterer(オーストリア)	83	10	南通芯迎設計(中国)	74	10	CJ 4D PLEX(韓国)	37

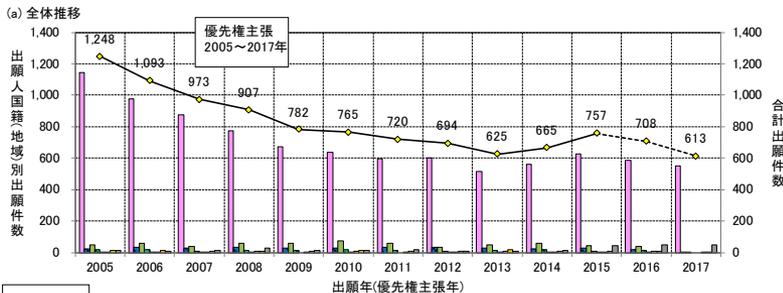
3. 3. 主要国(地域)間の出願件数収支

- 日本、欧州、中国、韓国への出願では自国籍の出願人による出願が80%以上を占めるが、米国での出願では自国籍からの出願が60%と低い。米国への出願件数の多い出願人の上位には台湾、韓国、欧州の出願人が存在する。



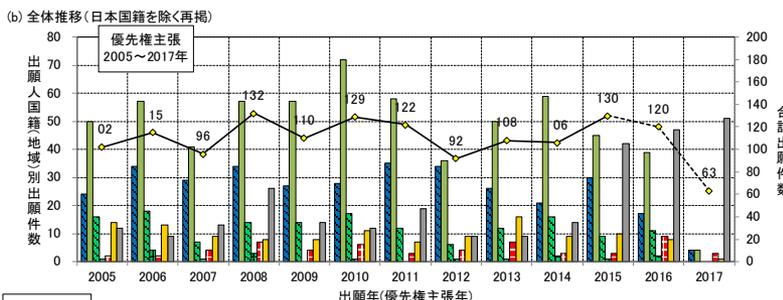
日本への特許出願の件数推移と比率

- 日本国籍の出願人によるものが大半（約85%）であり、2013年まで減少を続けていたが、それ以降増加傾向に転じている。

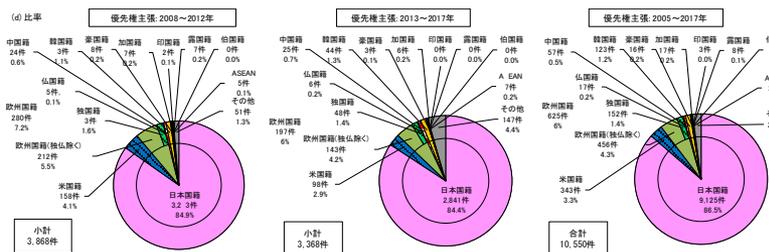


合計 10,550件
出願人国籍(地域): 日本国籍, 米国国籍, 欧州国籍, 独国籍(内数), 仏国籍(内数), 中国国籍, 韓国国籍, その他, 合計

注) 2016年以降は、データベース収録の遅れ、PCT出願の各国移行のずれなどで、全出願データを反映していない可能性がある。



小計 1,425件
出願人国籍(地域): 米国国籍, 欧州国籍, 独国籍(内数), 仏国籍(内数), 中国国籍, 韓国国籍, その他, 小計



出願人別の出願件数ランキング

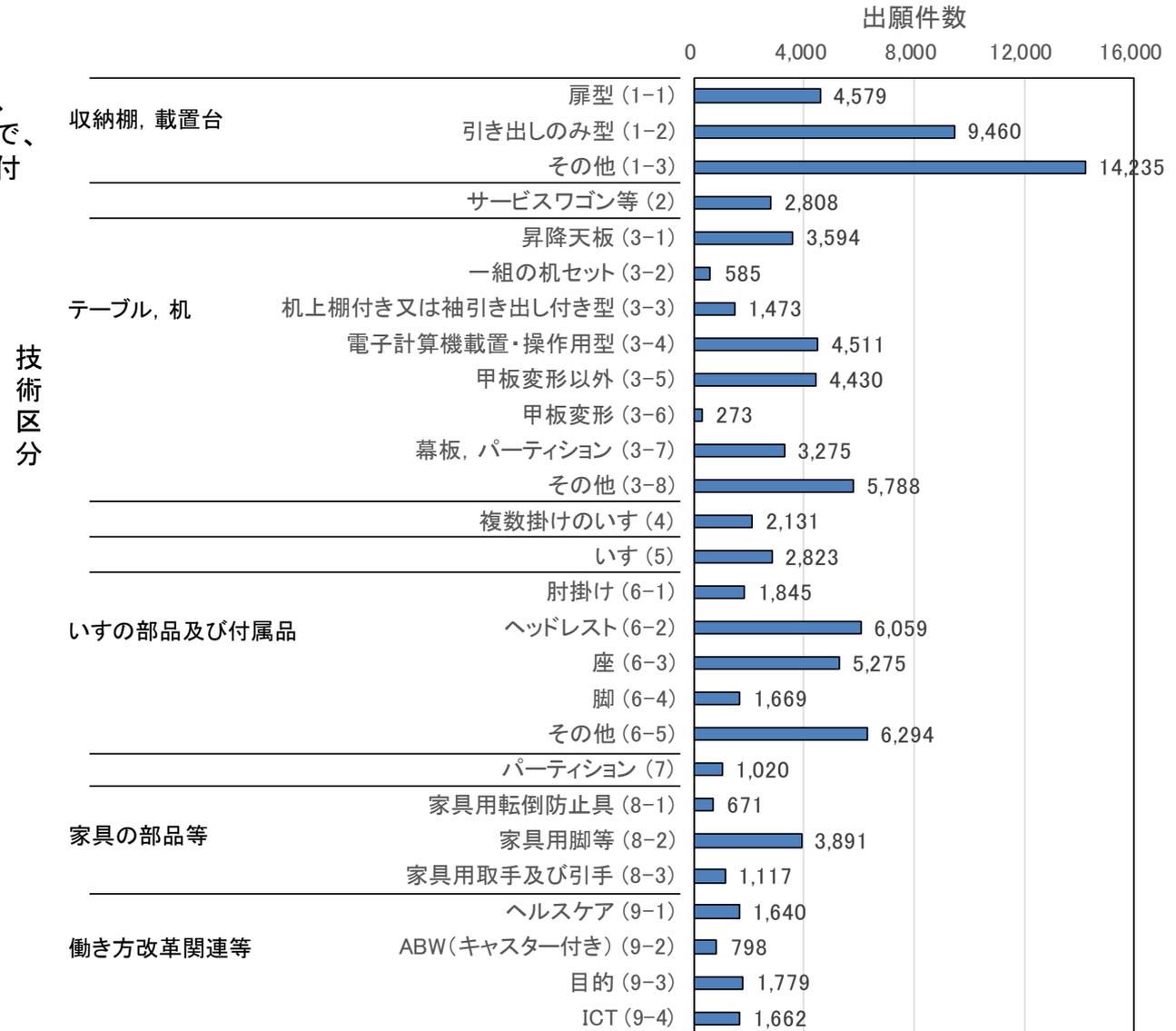
- 出願人別特許出願件数ランキング（出願先国・地域別）の日本（8頁）と同じ。特に件数が多いのはオカムラ、コクヨ、イトーキ、パナソニック。

出願年: 2005~2017年		
順位	出願人名	出願件数
1	オカムラ	1,335
2	コクヨ	774
3	イトーキ	716
4	パナソニック	555
5	ブルム(オーストリア)	174
6	LIXIL	130
7	クリナップ	117
8	タカノ	114
8	川湖科技(King Slide) (台湾)	114
10	トヨタ紡織	90



3. 4. 区分別の出願動向（全体出願件数）

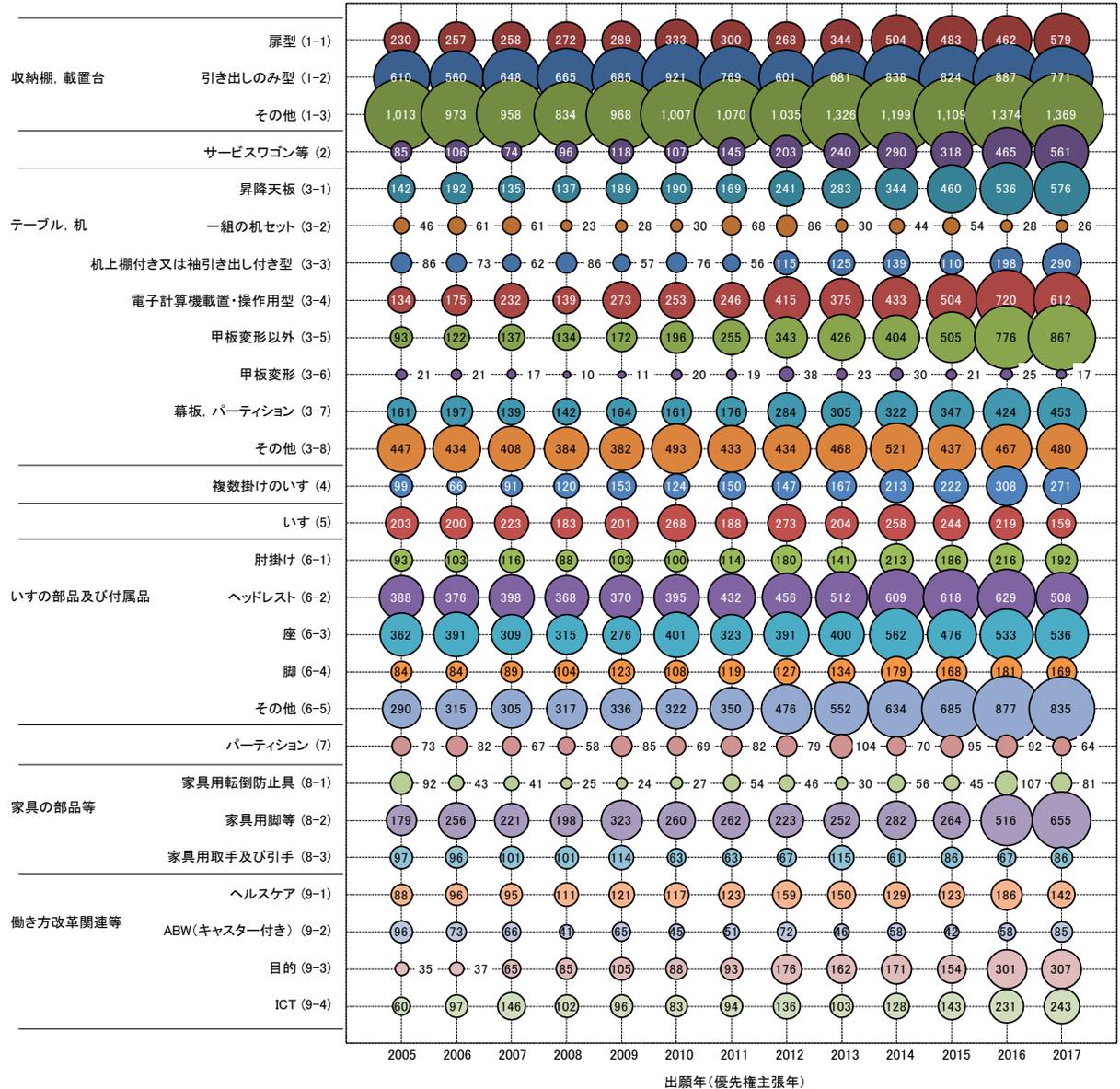
- 技術区分（大分類）別に集計すると、収納棚・載置台に関する出願が最多で、これにテーブル・机、椅子の部品・付属品が続いている。



3. 4. 区分別の出願動向（出願件数推移）

出願件数の伸びが大きい項目は、以下のとおりである。

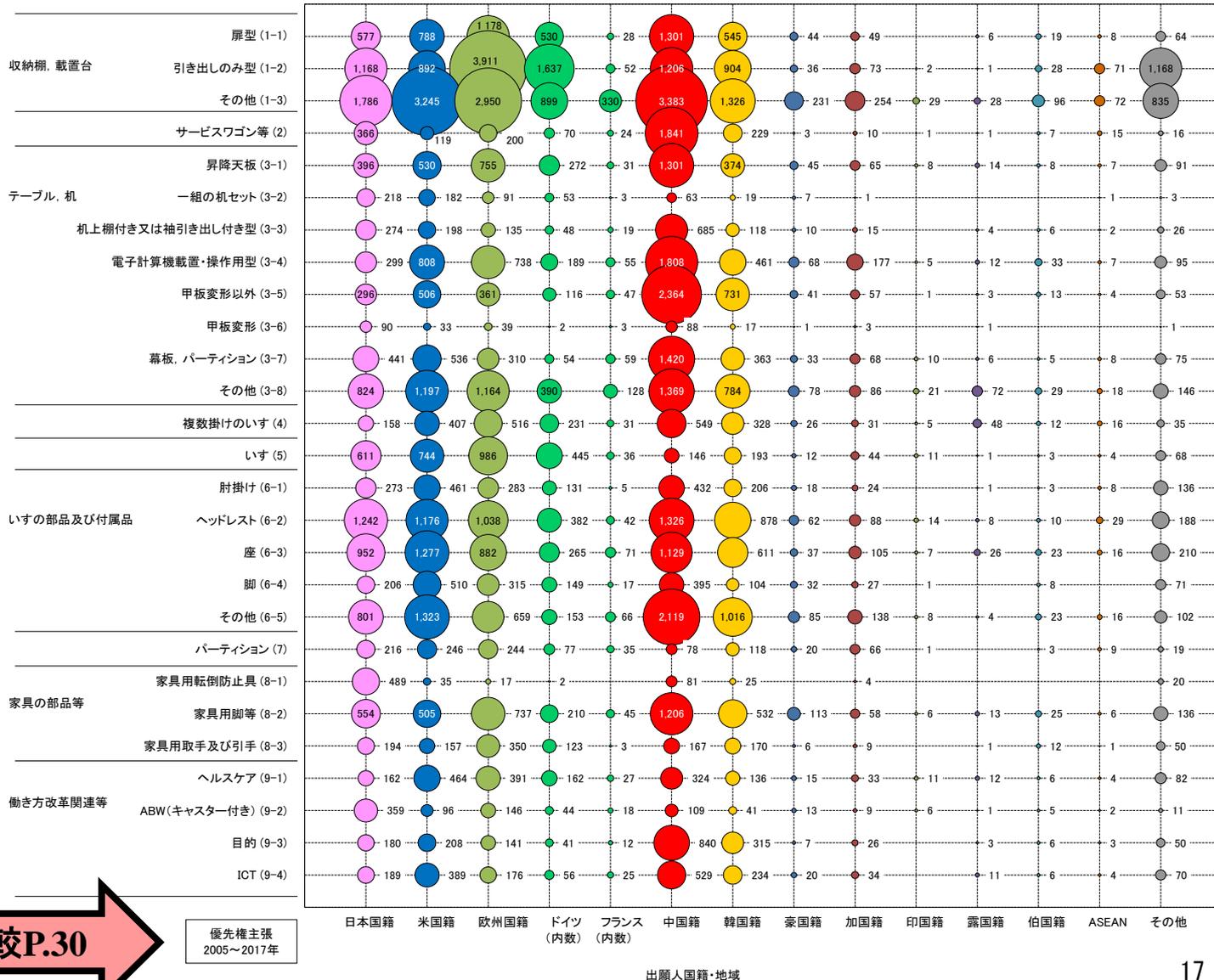
- ✓ サービスワゴン等
- ✓ テーブル，机／昇降天板
- ✓ テーブル，机／机上棚付き又は袖引き出し付き型
- ✓ テーブル，机／電子計算機載置・操作用型
- ✓ テーブル，机／甲板変形以外
- ✓ 複数掛けのいす
- ✓ いすの部品及び付属品／その他
- ✓ 働き方改革関連等／目的
- ✓ 働き方改革関連等／ICT



(注) 調査時点で審査請求前や審査中の出願が存在するため、2016年に近づくにつれて件数が減少することに注意すること

3. 4. 区分別の出願動向（出願人国籍(地域)別の出願件数）

- 日本国籍出願人の出願は、もっとも件数が多いのは、収納棚、載置台の区分である。また、家具の部品等／家具用転倒防止具の比率が高く、テーブル、机／電子計算機載置・操作用型と複数掛けのいずれの比率が低い。
- 欧州国籍出願人の出願は、収納具、載置台／引き出しのみ型の比率が高い。
- 中国籍出願人の出願は、サービスワゴン等、テーブル、机／甲板変形以外、テーブル、机／幕板、パーティションの比率が高い。

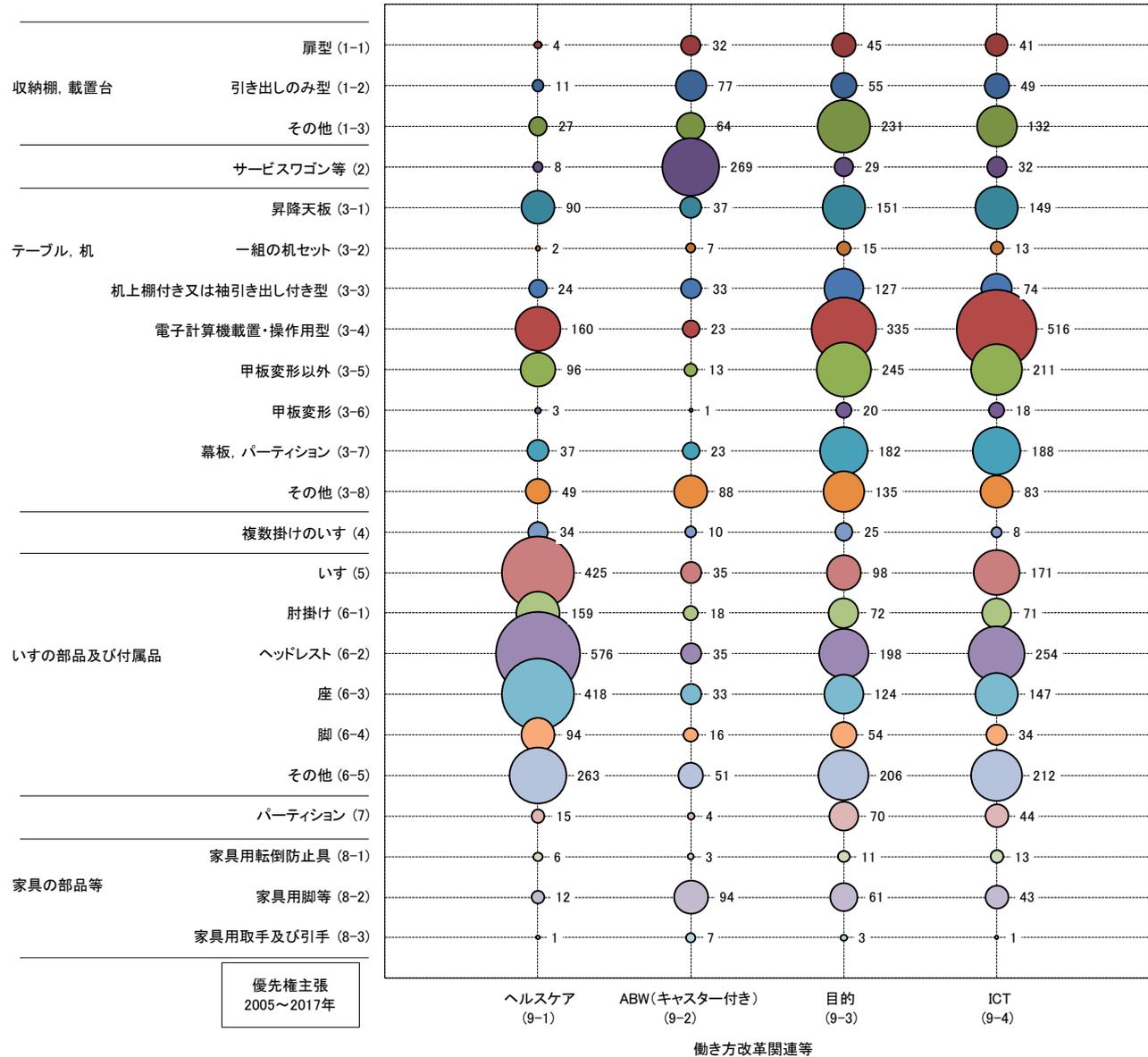


優先権主張
2005~2017年

3. 4. 区分別の出願動向（働き方改革関連との関係）

働き方改革関連等の区分とその他（家具種別）の区分との相関関係

- ヘルスケアの用途ではいすの部品及び付属品に関する出願が多く行われている。
- ABW（キャスター付き）の用途ではサービスワゴン等に関する出願が多く行われている。
- 目的とICTの用途では、テーブル、机／電子計算機載置・操作型に関する出願が多く行われており、各技術区分の構成比率も類似している。

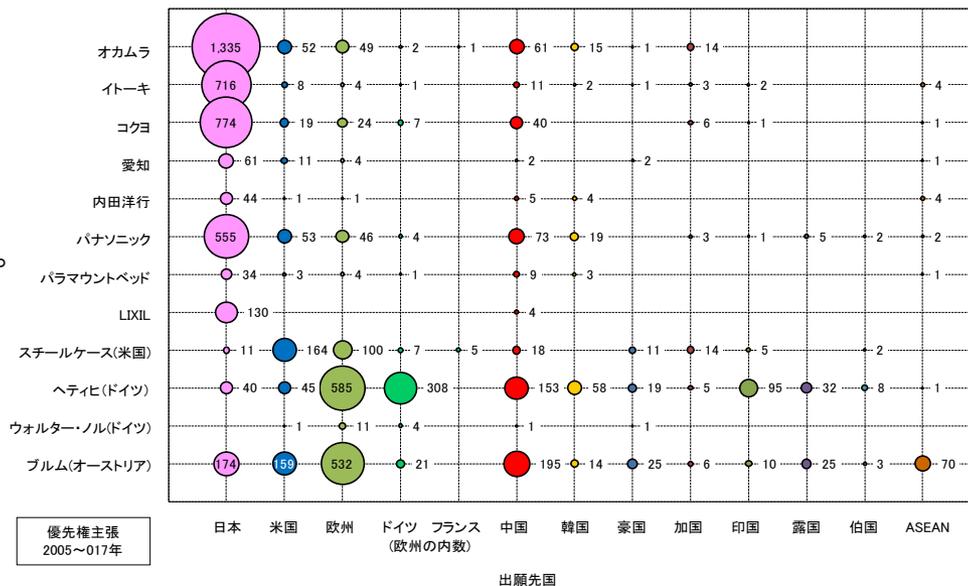


優先権主張
2005~2017年

3. 5. 指定出願人の出願動向（出願件数、推移）

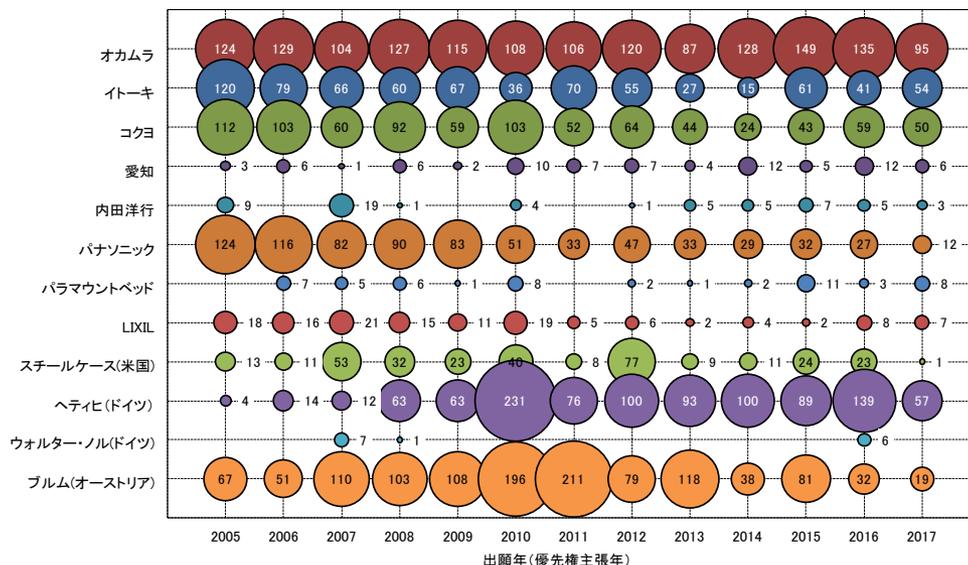
指定出願人の出願先国別特許出願件数

- 日本国籍の出願人は、愛知株式会社を除き、米国や欧州への出願よりも中国への出願の方の件数が多い。
- スチールケース（米国）は、自国出願（164件）に伍する件数（100件）を欧州に行っている。
- ヘティヒ（ドイツ）とブルム（オーストリア）は欧州圏への出願件数に対する中国出願の件数の比率がそれぞれ26%、37%と高い。
- ヘティヒはインドへの出願件数も相当数ある。
- ブルムは日本、米国、ASEANへの出願件数が相当数ある。



指定出願人別の特許出願件数推移

- 日本出願人の出願件数が減少傾向にある中で、オカムラは年間100件～150件の出願を継続している。
- オカムラを除く日本国籍出願人は2011年～2014年に出現件数の谷を迎えたのち、増加傾向に転じている。
- スチールケース、ヘティヒ、ブルムは総じて2010年～2012年の時期に出願件数のピークを見せたのち、減少傾向に転じている。



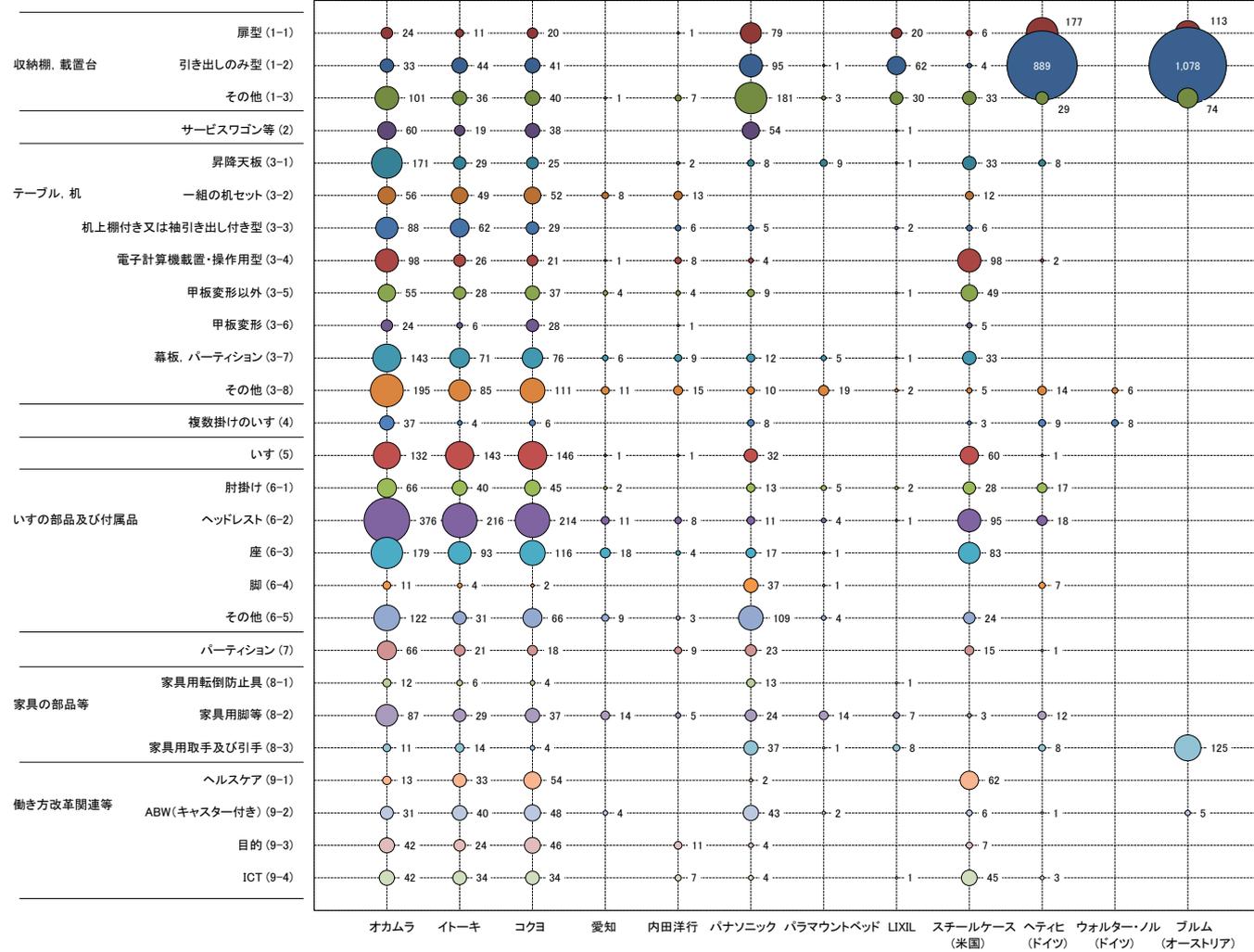
比較P.27

比較P.32

(注) 調査時点で審査請求前や審査中の出願が存在するため、2016年に近づくにつれて件数が減少することに注意すること

3. 5. 指定出願人の出願動向（区分別の出願件数）

- オカムラ、イトーキ、コクヨの3者は、技術区分ごとの出願件数比率が類似している。ただし、オカムラはテーブル、机／昇降天板の件数比率が他者に比べて高い。
- スチールケースは、テーブル、机／電子計算機載置・操作用型と働き方改革関連等／ヘルスケア、働き方改革関連等／ICTの区分における出願件数比率が高い。
- ヘティヒとブルムはともに収納具、載置台／引き出しのみ型の技術区分での出願件数比率が非常に高い。



比較P.28

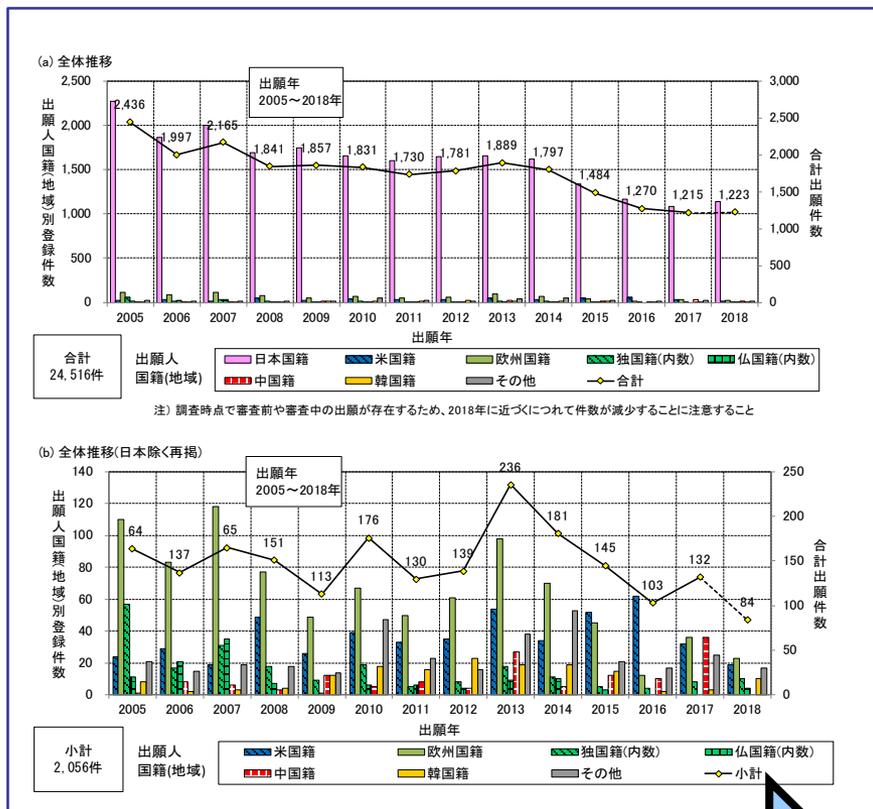
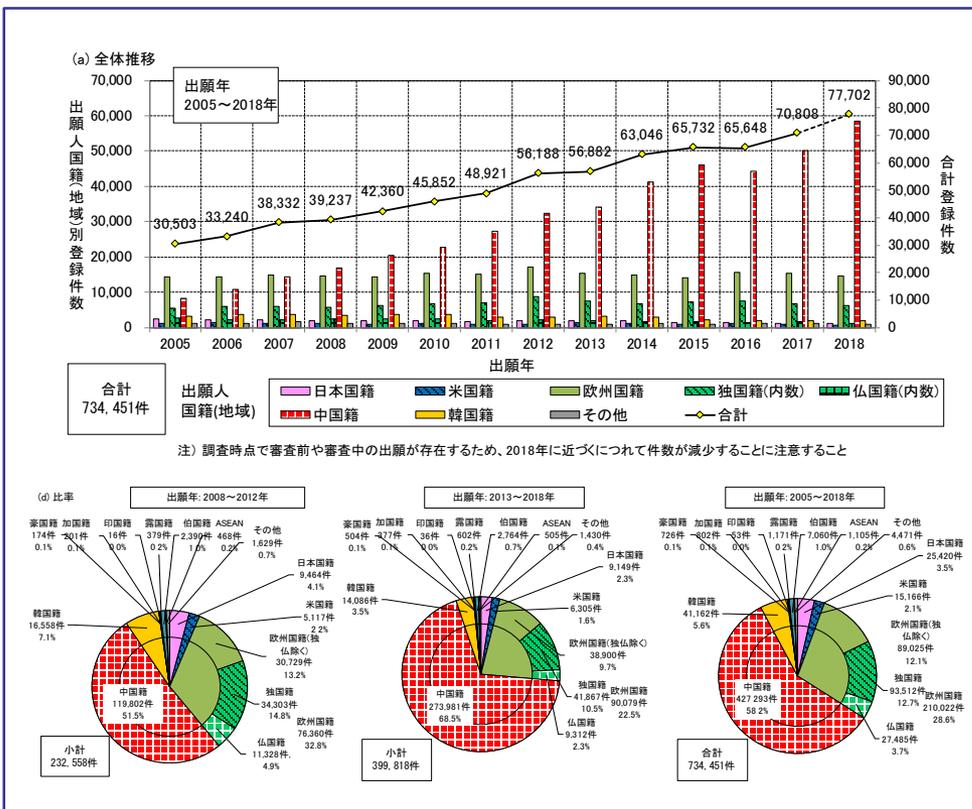
比較P.33

4. 1. 登録動向（登録件数推移）

- 検索により抽出された意匠登録件数は734,451件であった。
- 2005年登録の30,503件から2017年には2倍以上の70,808件に達し、年間登録件数は毎年約3,500件ずつ増加している。その主要因は中国籍出願人による出願・登録数増加である。それ以外の国・地域の出願人による登録は、調査対象期間を通じてほぼ一定水準にある。
- 中国籍出願人による登録件数比率は58.2%で、欧州が28.6%（うち、ドイツが12.7%）、韓国が5.6%、日本が3.5%、米国が2.1%を占めている。

出願人国籍別の意匠登録件数推移と比率 (出願先：各国・地域)

出願人国籍別の意匠登録件数の推移 (出願先：日本)



4. 2. 出願人別登録ランキング (全体)

- 中国の全友家私が8,757件で1位、日本のオカムラが4,942件で2位である。
- 中国籍出願人を除くとオカムラが最上位である。オカムラ以外では、日本のイトーキ (1,779件)、ドイツのKoinor Polstermöbel (2,890件) やHülsta-Werke Hüls (1,818件) が上位5位以内に位置づけられる。

全出願人でのランキング

出願年: 2008~2012年			出願年: 2013~2018年			出願年: 2005~2018年		
順位	出願人名	意匠件数	順位	出願人名	意匠件数	順位	出願人名	意匠件数
1	全友家私(中国)	3,537	1	全友家私(中国)	5,220	1	全友家私(中国)	8,757
2	Intelligent wise Ni Ma furniture design (慧智尼玛家具设计)(中国)	1,964	2	オカムラ	2,065	2	オカムラ	4,942
3	Li Shunlong (李顺龙;個人)(中国)	1,781	3	成都梓楠家具(中国)	1,923	3	Koinor Polstermöbel(ドイツ)	2,890
4	オカムラ	1,770	4	Chengdu Taomasi Bathroom (成都陶玛斯卫浴)(中国)	1,875	4	Intelligent wise Ni Ma furniture design (慧智尼玛家具设计)(中国)	1,964
5	Yin Xianjian (尹显建)(中国)	1,269	5	Koinor Polstermöbel(ドイツ)	1,767	5	成都梓楠家具(中国)	1,923

中国籍出願人を除いたランキング

出願年: 2008~2012年			出願年: 2013~2018年			出願年: 2005~2018年		
順位	出願人名	意匠件数	順位	出願人名	意匠件数	順位	出願人名	意匠件数
1	オカムラ	1,770	1	オカムラ	2,065	1	オカムラ	4,940
2	Hülsta-Werke Hüls(ドイツ)	988	2	Koinor Polstermöbel(ドイツ)	1,767	2	Koinor Polstermöbel(ドイツ)	2,890
3	Koinor Polstermöbel(ドイツ)	816	3	NovaVia Polstermöbel(ドイツ)	1,307	3	Hülsta-Werke Hüls(ドイツ)	1,818
4	Siegfried und André Schelbach(ドイツ)	769	4	Wolf Möbel(ドイツ)	1,123	4	イトーキ	1,779
5	イトーキ	632	5	Innostyle-Möbelvertriebs(ドイツ)	996	5	Wolf Möbel(ドイツ)	1,683

4. 2. 出願人別登録ランキング (主要国(地域))

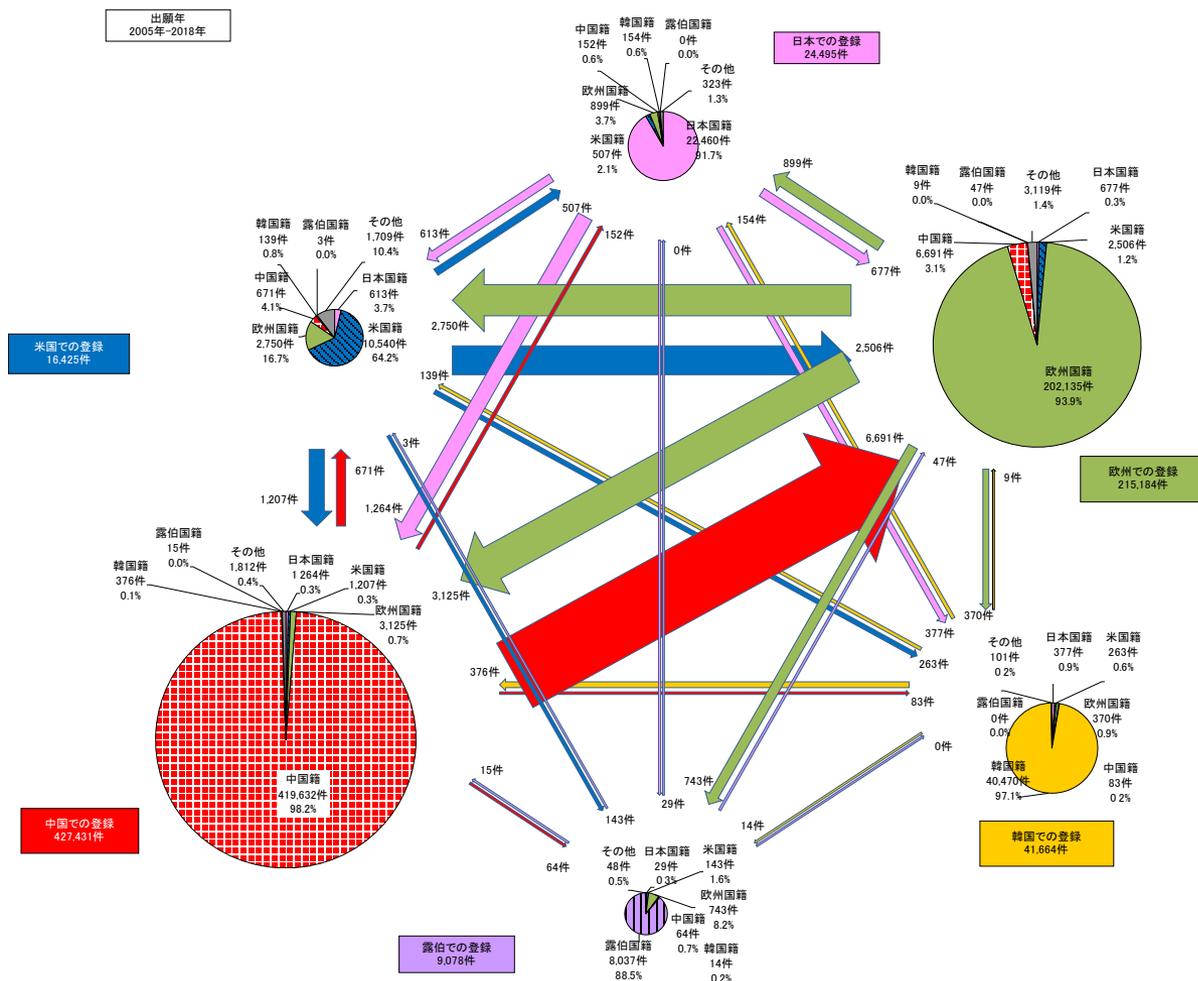
- いずれの国・地域においても、出願件数ランキングで上位に現れる出願人はほとんどが自国籍のものである。
- その中で、オカムラ（日本）とNatuzzi（イタリア）が米国で、Yotrio Group（中国）が欧州で上位に入っているのが目立つ。

出願先: 日本			出願先: 米国			出願先: 欧州		
順位	出願人名	意匠件数	順位	出願人名	意匠件数	順位	出願人名	意匠件数
1	オカムラ	4,017	1	スチールケース(米国)	367	1	Koinor Polstermöbel (ドイツ)	2,890
2	イトーキ	1,629	2	Target Brands (米国)	271	2	Hülsta-Werke Hüls (ドイツ)	1,818
3	コクヨ	1,146	3	Ashley Furniture Industries (米国)	243	3	Wolf Möbel (ドイツ)	1,683
4	パナソニック	471	4	オカムラ	231	4	Yotrio Group (中国)	1,457
5	愛知	353	5	Natuzzi (イタリア)	170	5	NovaVia Polstermöbel (ドイツ)	1,411

出願先: 中国			出願先: 韓国		
順位	出願人名	意匠件数	順位	出願人名	意匠件数
1	全友家私(中国)	8,757	1	Yuyoungwon (韓国)	285
2	Intelligent wise Ni Ma furniture design (慧智尼玛家具设计)(中国)	1,964	2	Heunghwa (韓国)	260
3	成都梓楠家具(中国)	1,923	3	Nuriplan (韓国)	254
4	Chengdu Taomasi Bathroom (成都陶玛斯卫浴)(中国)	1,921	4	Au Nyugeurin Valley (韓国)	217
5	Yin Xianjian (尹显建)(中国)	1,864	5	Wooil Fence (韓国)	205

4. 3. 主要国(地域)間の登録件数収支

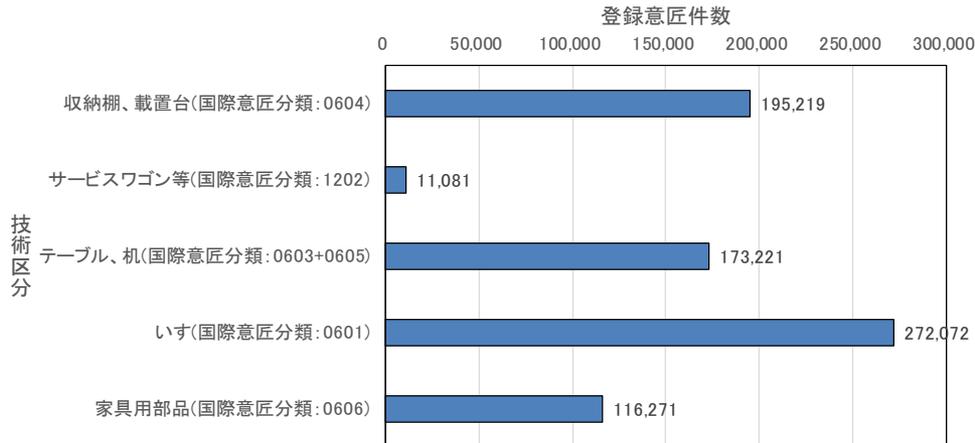
- 米国出願で自国籍（米国籍）の出願件数比率が64.2%と低いのを除けば、日本、欧州、中国、韓国のいずれにおいても、90%程度以上の出願が自国出願である。
- 中国籍と韓国籍の出願人は自国外への出願が非常に少ない。



4. 4. 区分別の登録動向（全体登録件数、推移）

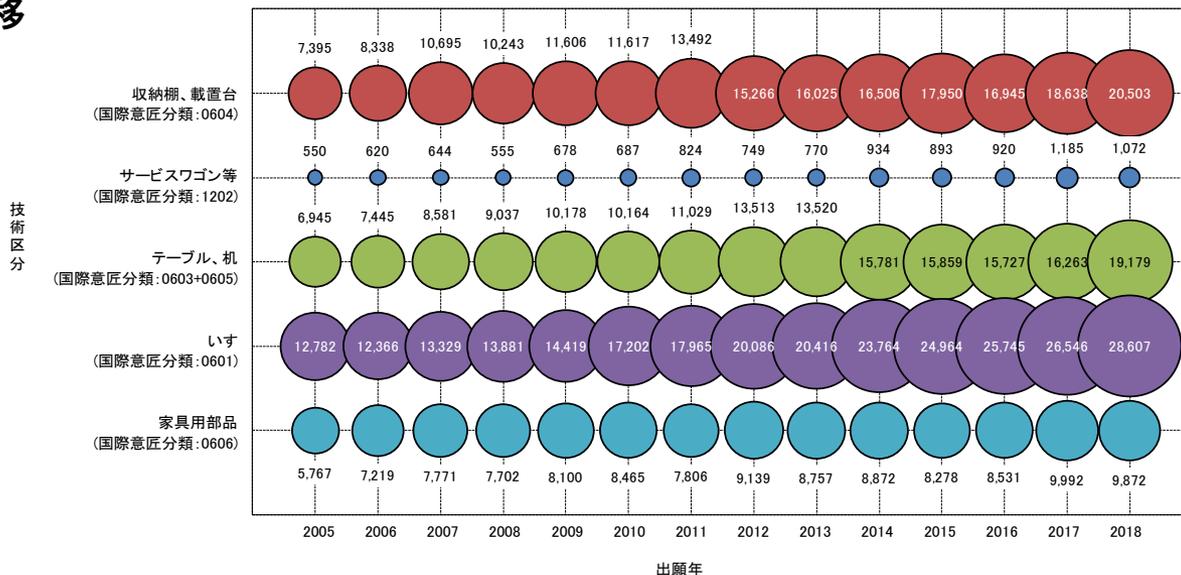
技術区分別の意匠登録件数 （出願先：各国・地域）

- いすに関する登録件数が最多（272,072件）で、収納棚、載置台の195,219件、テーブル、机の173,221件の順となっている。



技術区分別の意匠登録件数推移 （出願先：各国・地域）

- いずれの技術区分も全体と類似の増加傾向を示している。

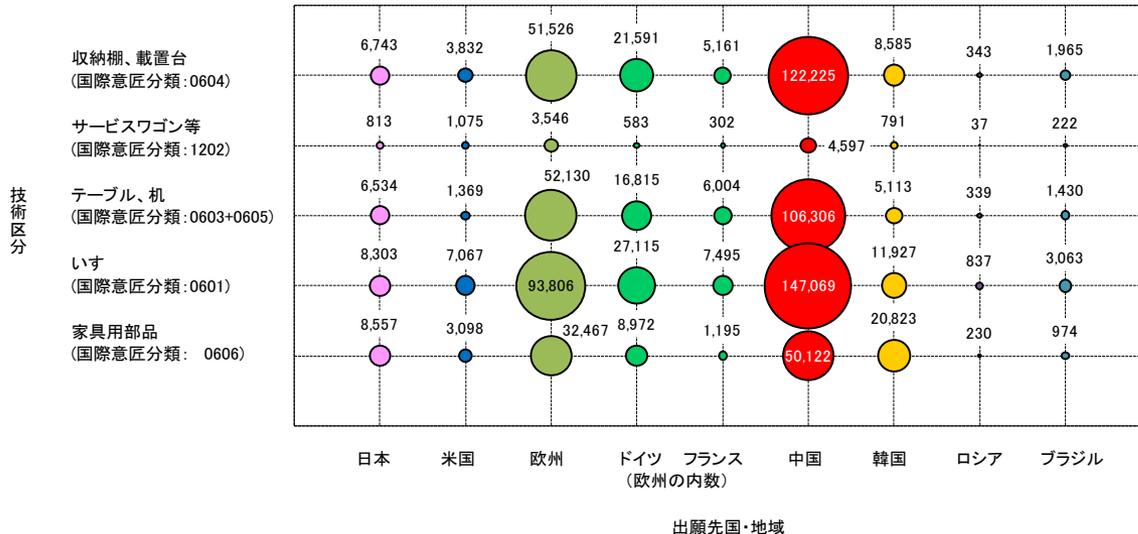


注) 調査時点で審査前や審査中の出願が存在するため、2018年に近づくにつれて件数が減少することに注意すること

4. 4. 区分別の登録動向（出願人国籍（地域）別の登録件数）

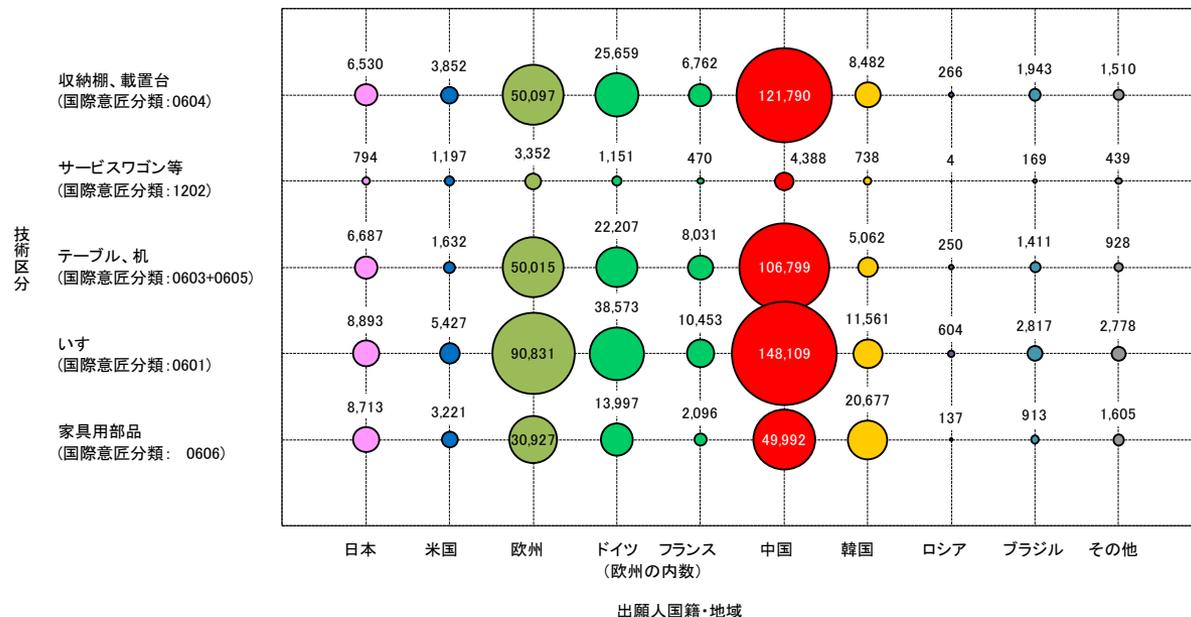
技術区分別-出願先国（地域）別の意匠登録件数

- 中国の次に、欧州への登録件数が多い。
- ほとんどの出願先国（地域）ではいすが最多だが、韓国では家具用部品が最多である。
- ほとんどの出願先国（地域）で収納棚、載置台の件数が、テーブル、机よりも多いが、欧州（ドイツを除く）では逆となっている。



技術区分別-出願人国籍（地域）別の意匠登録件数

- 日本において、もっとも登録件数が多いのは、いすの区分である。
- 日本と韓国の出願人からは、家具用部品に関する登録件数比率が高い。特に韓国からの家具用部品の比率の高さが目立つ。
- 米国、ドイツ、中国の出願人からは、収納棚、載置台の件数が、テーブル、机よりも多いが、日本とフランスでは逆となっている。



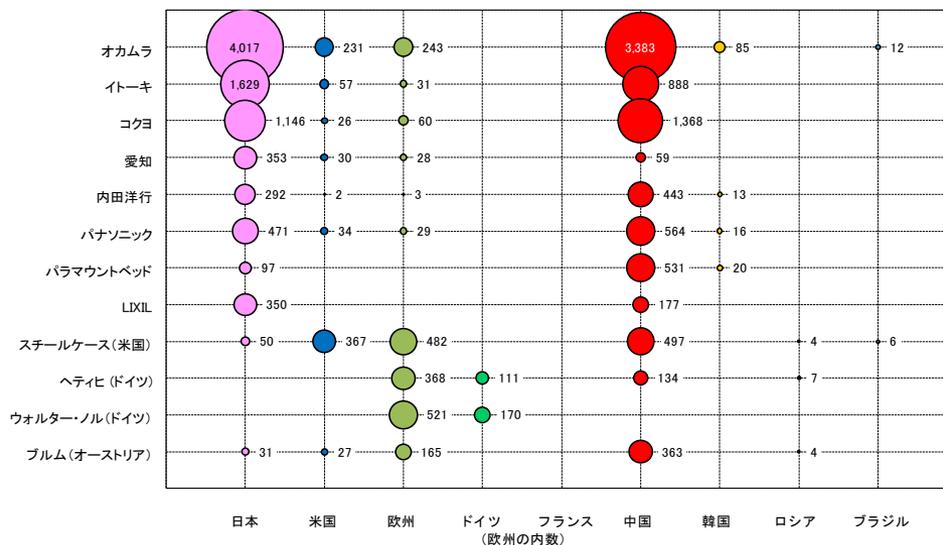
比較P.17

比較P.30

4. 5. 指定出願人の登録動向（登録件数、推移）

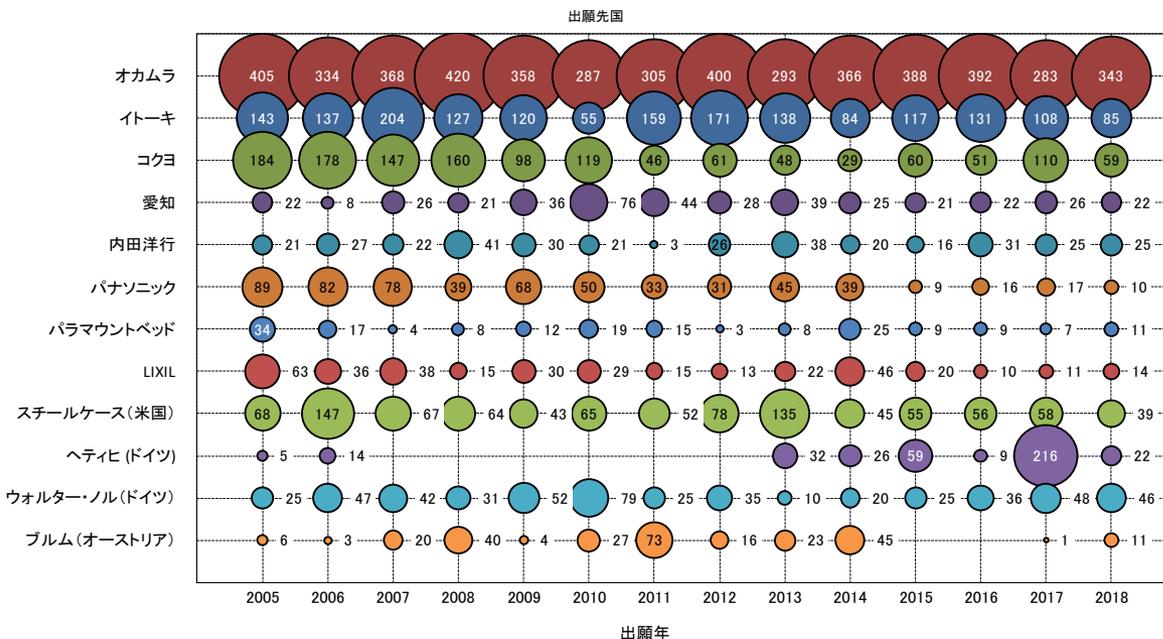
指定出願人の出願先国別意匠登録件数 （出願先：各国・地域）

- 多くの出願人で中国への登録件数比率が高い。特に、コクヨ、内田洋行、パナソニック、スチールケース（米国）、ブルム（オーストリア）は自国への出願を上回る件数を中国に登録している。
- 日本国籍出願人のうちパナソニック、LIXIL、パラマウントベッドは外国に意匠登録している割合が高い。



指定出願人別の意匠登録件数推移 （出願先：各国・地域）

- 日本国籍出願人は全期間を見ると件数減少傾向にあるが、近年は維持している。多くの日本国籍出願人は 2013年又は 2014年に件数の谷を迎え、増加に転じた。
- コクヨは2011年以降件数が減少したが、2015年と2017年には急増した。ヘティヒも2015年と2017年に急増した。
- パナソニック、ヘティヒ、ブルムは圧倒的に特許件数（P17）のほうが国際意匠の件数より多い。

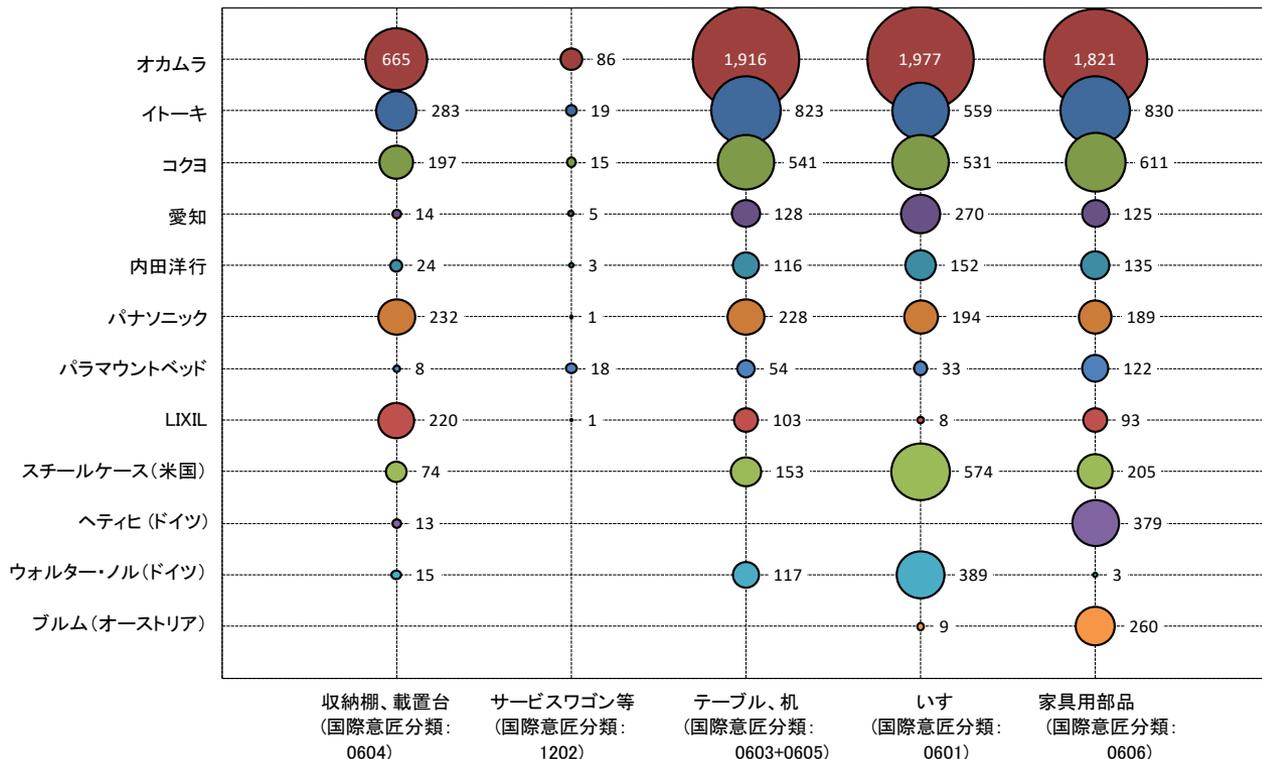


比較P.19

比較P.32

注）調査時点で審査前や審査中の出願が存在するため、2018年に近づくにつれて件数が減少することに注意すること

- 収納棚、載置台 (国際意匠分類 : 0604) の区分では、パナソニックとLIXILはその比率が高く、愛知と内田洋行はそれが低い。
- いす (国際意匠分類 : 0601) の区分では、スチールケースとウォルター・ノルで出願件数比率が高い。
- 家具用部品 (国際意匠分類 : 0606) の区分では、パラマウントベッド、ヘティヒ、ブルムで出願件数比率が高い。



5. 1. 登録動向、出願人別登録ランキング

- 日本への意匠登録件数は調査期間の合計で11,350件であり、年次推移では多少の増減はあるものの、2005年以降、減少傾向にある。出願人の国籍は91.6%が日本である

出願人国籍別の意匠登録件数推移と比率 (出願先：日本)

- 2006年、2009年と段階的に減少し、2014年まで減少を続けていたが、それ以降増加傾向に転じている。

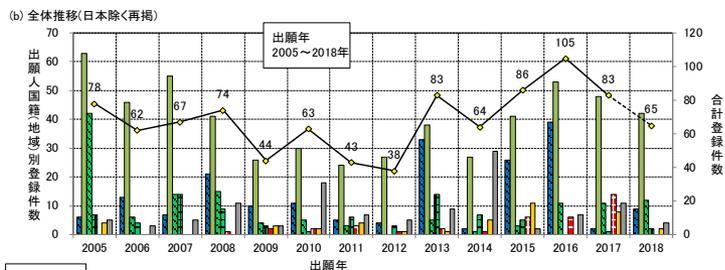
出願人別の意匠登録件数 (出願先：日本)

- 1位がオカムラなのは特許全体件数のランキングと同様だが、2位と3位は特許件数ランキングと逆転している（特許では2位コクヨ、3位イトーキ）。

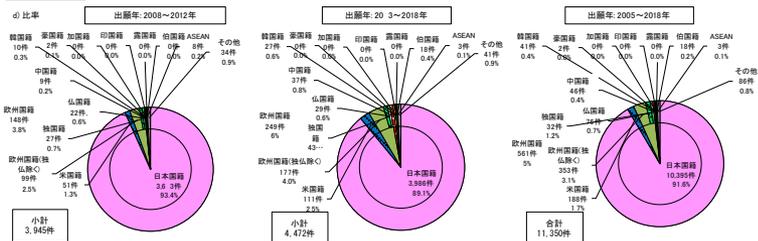


合計 11,350件
出願人国籍(地域) 日本国籍 米国籍 欧州国籍 独国籍(内数) 仏国籍(内数) 中国国籍 韓国籍 その他

注) 調査時点で審査前や審査中の出願が存在するため、2018年に近づくにつれて件数が減少することに注意すること



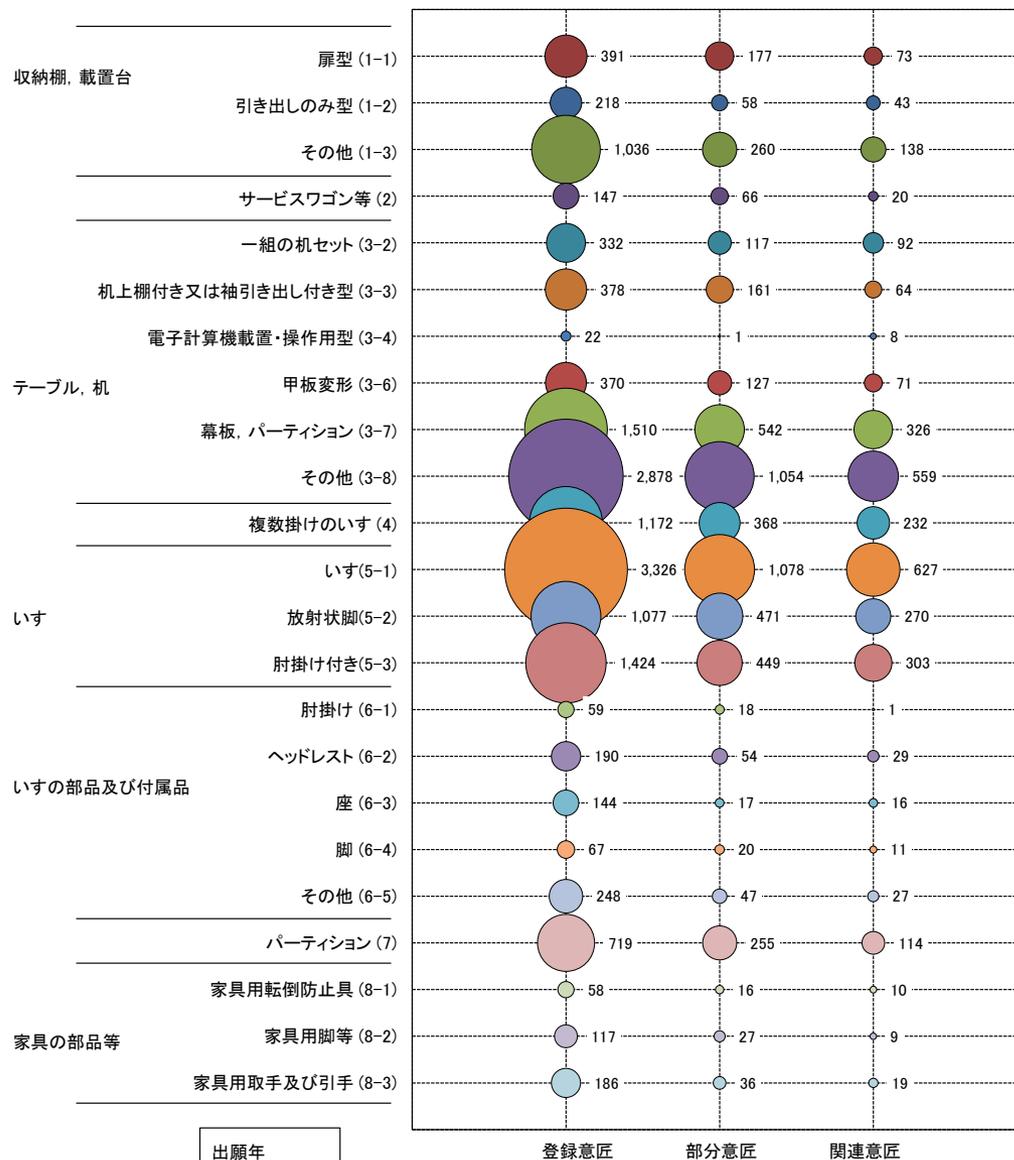
小計 955件
出願人国籍(地域) 米国籍 欧州国籍 独国籍(内数) 仏国籍(内数) 中国国籍 韓国籍 その他



出願年：2005～2018年		
順位	出願人名	意匠件数
1	オカムラ	3,405
2	イトーキ	1,403
3	コクヨ	1,001
4	愛知	339
5	内田洋行	243
6	タカラベルモント	115
7	くろがね工作所	114
8	パナソニック	82
9	デドン(ドイツ)	78
10	プラス	69

5. 2. 区分別の登録動向（登録件数）

- もっとも登録件数が多いのは、いすの区分である。
- テーブル、机の区分の中では、特許と比較して、幕板、パーティションの登録件数が多く、電子計算機載置・操作型が少ない。
- 特許と比較して、複数掛けのいす、いす、パーティションの登録件数が多い。
- 特許と比較して、いすの部品及び付属品、家具の部品等の登録件数は少ない。



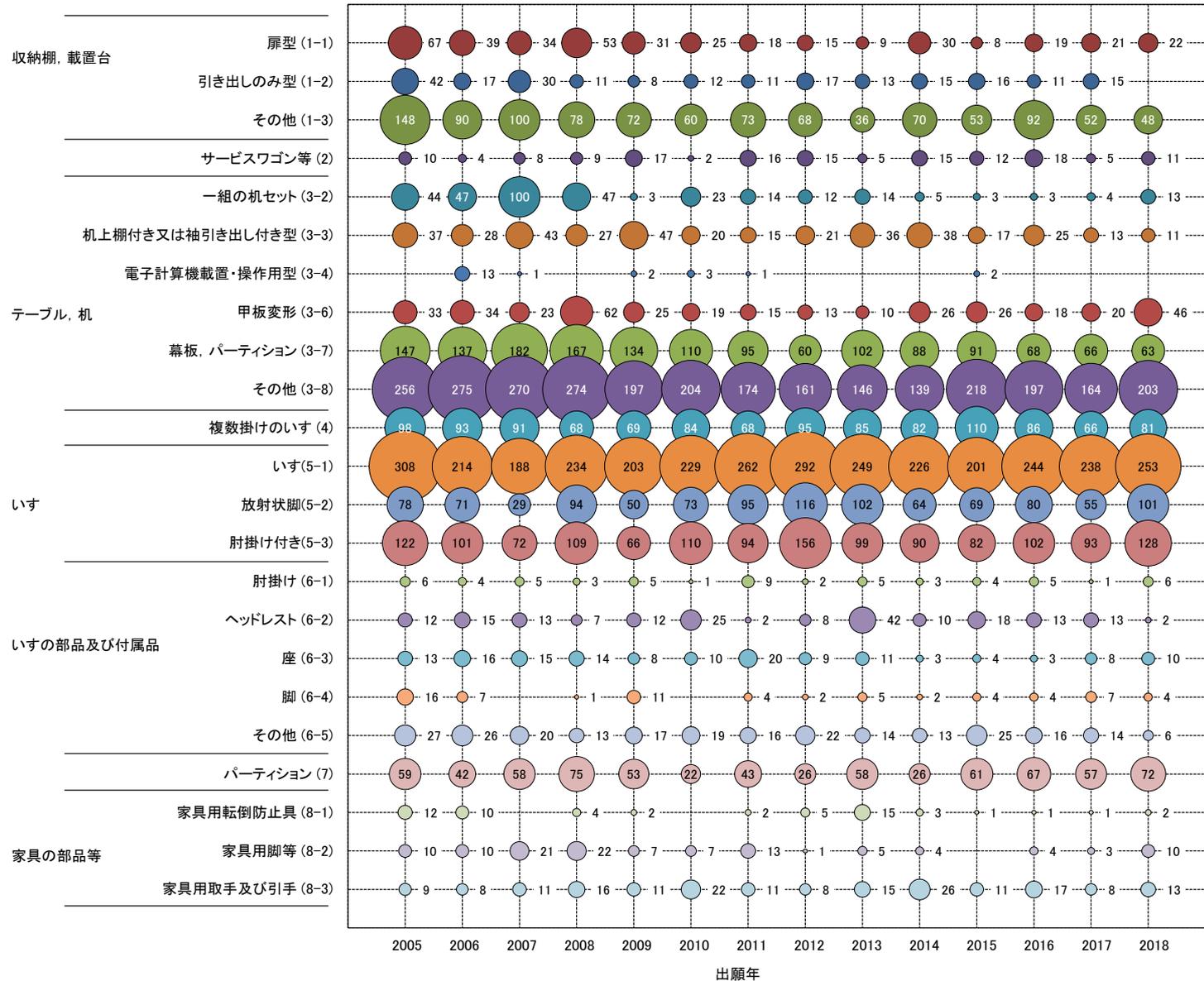
比較P.17

比較P.26

出願年
2005~2018年

5. 2. 区分別の登録動向（登録件数推移）

- テーブル、机の区分では、甲板変形の登録件数が、近年増加傾向にある。
- テーブル、机の区分では、幕板、パーティションの登録件数が、近年減少傾向にある。
- いすの区分では、放射状脚・肘掛け付きの登録件数が、近年微増傾向にある。



注) 調査時点で審査前や審査中の出願が存在するため、2018年に近づくにつれて件数が減少することに注意すること

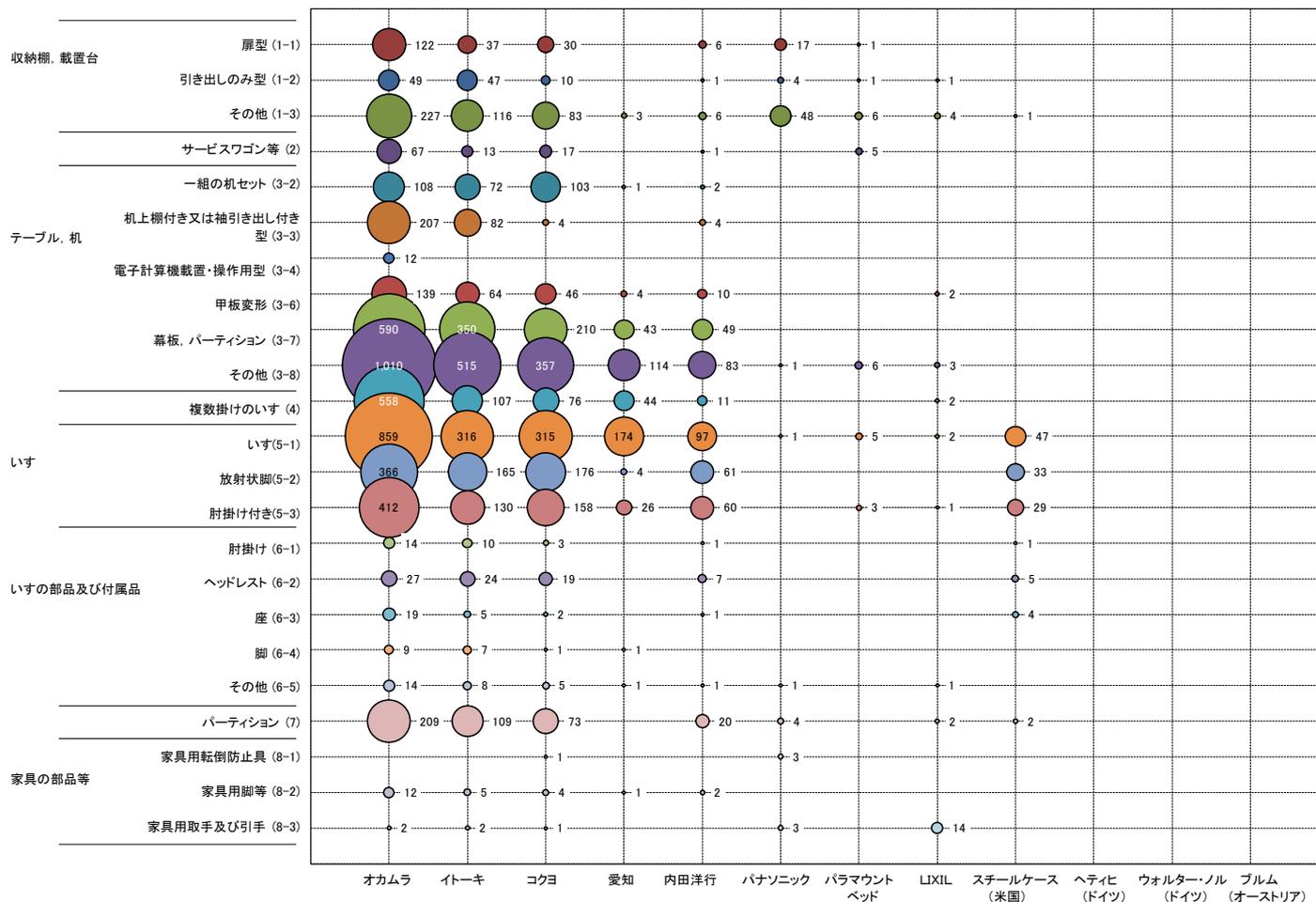
5. 3. 指定出願人の登録動向（登録件数推移）

- 多くの日本国籍出願人は、期間全体をみると減少傾向にあるが、近年は登録件数を維持している。また、多くの日本国籍出願人は、2013年又は2014年に登録件数の谷を迎えたのち、増加傾向に転じている。これは国際意匠の件数推移（P25）と同様である。
- 外国籍出願人は、スチールケース（米国）の少数の登録を除き、日本への意匠登録を行っていない。



5. 3. 指定出願人の登録動向（区分別の登録件数）

- オカムラ、イトーキ、コクヨの3者は、区分ごとの出願件数比率が類似している。ただし、イトーキとコクヨは、テーブル、机の区分における電子計算機載置型・操作用型の登録がない。また、コクヨは、テーブル、机の区分のうち、机上棚付き又は袖引き出し付き型の登録件数が少ない。
- 愛知と内田洋行は、テーブル、机の区分の幕板、パーティションと、いすの区分の登録件数が大部分を占める。
- パナソニック、パラマウントベッド、LIXILの登録件数は少ない。
- スチールケース（米国）は、いすの区分の登録件数が大部分を占める。
- 特許件数（P18）と比較して、コクヨは、サービスワゴン等の登録件数が少ない。また、パナソニックとスチールケースは意匠よりも特許のほうで万遍なく様々な技術区分で多数登録している。



比較P.20

比較P.28

特許

- 年ごとの出願件数は、2009年まで5,000件前後で推移した後、増加傾向に転じ、2016年には8,668件に達している。
- 出願件数増加の主要因は中国籍出願人による中国国内への出願件数の増加であり、2016年の出願に占める中国籍出願人の出願件数比率は約50%である。
- 中国籍以外の国籍・地域の出願人の出願件数は総じて横ばい状態である。日本国籍出願人の出願件数は減少傾向にあり、2005年頃に欧州・米国と同水準であったのが、2010年頃以降は欧州の半数程度になっている。
- 日本においては、日本国籍の出願人によるものが大半（約85%）であり、2013年まで減少を続けていたが、それ以降増加傾向に転じている。

国際意匠

- 検索により抽出された意匠登録件数は734,451件であった。
- 2005年登録の30,503件から2017年には2倍以上の70,808件に達し、年間登録件数は毎年約3,500件ずつ増加している。その主要因は中国籍出願人による出願・登録数増加である。それ以外の国・地域の出願人による登録は、調査対象期間を通じてほぼ一定水準にある。
- 中国籍出願人による登録件数比率は58.2%で、欧州が28.6%（うち、ドイツが12.7%）、韓国が5.6%、日本が3.5%、米国が2.1%を占めている。

日本意匠

- 日本への意匠出願件数は調査期間の合計で11,350件であり、年次推移では多少の増減はあるものの、2005年以降、減少傾向にある。出願人の国籍は91.6%が日本である。

6. まとめ（区分別の出願・登録動向）

特許

- 日本国籍出願人の出願は、もっとも件数が多いのは、収納棚、載置台の区分である。また、家具の部品等／家具用転倒防止具の比率が高く、テーブル、机／電子計算機載置・操作用型と複数掛けのいすの比率が低い。
- 欧州国籍出願人の出願は、収納具、載置台／引き出しのみ型の比率が高い。
- 中国籍出願人の出願は、サービスワゴン等、テーブル、机／甲板変形以外、テーブル、机／幕板、パーティションの比率が高い。
- ヘルスケアの用途ではいすの部品及び付属品に関する出願が多く行われている。
- ABW（キャスター付き）の用途ではサービスワゴン等に関する出願が多く行われている。
- 目的とICTの用途では、テーブル、机／電子計算機載置・操作用型に関する出願が多く行われており、各技術区分の構成比率も類似している。

国際意匠

- 日本において、もっとも登録件数が多いのは、いすの区分である。
- 日本と韓国の出願人からは、家具用部品に関する登録件数比率が高い。特に韓国からの家具用部品の比率の高さが目立つ。
- 米国、ドイツ、中国の出願人からは、収納棚、載置台の件数が、テーブル、机よりも多いが、日本とフランスでは逆となっている。

日本意匠

- もっとも登録件数が多いのは、いすの区分である。
- テーブル、机の区分の中では、特許と比較して、幕板、パーティションの登録件数が多く、電子計算機載置・操作用型が少ない。
- 特許と比較して、複数掛けのいす、いす、パーティションの登録件数が多い一方、いすの部品及び付属品、家具の部品等の件数は少ない。

6. まとめ（区分別の出願・件数推移）

特許

- 出願件数の伸びが大きい項目は、以下のとおりである。
 - ✓ サービスワゴン等
 - ✓ テーブル、机／昇降天板
 - ✓ テーブル、机／机上棚付き又は袖引き出し付き型
 - ✓ テーブル、机／電子計算機載置・操作用型
 - ✓ テーブル、机／甲板変形以外
 - ✓ 複数掛けのいす
 - ✓ いすの部品及び付属品／その他
 - ✓ 働き方改革関連等／目的
 - ✓ 働き方改革関連等／ICT

国際意匠

- いずれの技術区分も全体と類似の増加傾向を示している。

日本意匠

- テーブル、机の区分では、甲板変形の登録件数が、近年増加傾向にある。
- テーブル、机の区分では、幕板、パーティションの登録件数が、近年減少傾向にある。
- いすの区分では、放射状脚・肘掛け付きの登録件数が、近年微増傾向にある。

6. まとめ（指定出願人の区分別の出願・登録動向）

特許

- オカムラ、イトーキ、コクヨの3者は、技術区分ごとの出願件数比率が類似している。ただし、オカムラはテーブル、机／昇降天板の件数比率が他者に比べて高い。
- スチールケースは、テーブル、机／電子計算機載置・操作用型と働き方改革関連等／ヘルスケア、働き方改革関連等／ICTの区分における出願件数比率が高い。
- ヘティヒとブルムはともに収納具、載置台／引き出しのみ型の技術区分での出願件数比率が非常に高い。

国際意匠

- 収納棚、載置台（国際意匠分類：0604）の区分では、パナソニックとLIXILはその比率が高く、愛知と内田洋行はそれが低い。
- いす（国際意匠分類：0601）の区分では、スチールケースとウォルター・ノルで出願件数比率が高い。
- 家具用部品（国際意匠分類：0606）の区分では、パラマウントベッド、ヘティヒ、ブルムで出願件数比率が高い。

日本意匠

- オカムラ、イトーキ、コクヨの3者は、区分ごとの出願件数比率が類似している。ただし、イトーキとコクヨは、テーブル、机の区分における電子計算機載置型・操作用型の登録がない。また、コクヨは、テーブル、机の区分のうち、机上棚付き又は袖引き出し付き型の登録件数が少ない。
- 愛知と内田洋行は、テーブル、机の区分の幕板、パーティションと、いすの区分の登録件数が大部分を占める。
- パナソニック、パラマウントベッド、LIXILの登録件数は少ない。
- スチールケース（米国）は、いすの区分の登録件数が大部分を占める。
- 特許件数（P18）と比較して、コクヨは、サービスワゴン等の登録件数が少ない。また、パナソニックとスチールケースは意匠よりも特許のほうで万遍なく様々な技術区分で多数登録している。

	日本 (JPO)	米国 (USPTO)	韓国 (KIPO)	中国 (CNIPA)	欧州 (EUIPO)
実体審査	有	有	有 (一部無審査)	無	無
存続期間	出願から25年※	登録から15年	出願から20年	出願から10年	出願から5年 4回更新可 (最長25年)
出願件数 (意匠数) [2018年]	31,406件	45,083件	67,721件	708,799件	93,272件
ハーグ協定 ジュネーブ 改正協定	加盟済	加盟済	加盟済	未加盟	加盟済
ロカルノ協定	加盟済	未加盟	加盟済	加盟済	未加盟

出典：特許行政年次報告書2019年版

※令和2年3月31日までの出願については登録から20年。